

# 京丹後市スポーツ推進計画

中間評価・見直し（案）

暮らしに息づく

「スポーツ文化の都 京丹後市」の創造に向けて

平成 26 年 3 月

京丹後市教育委員会

# 目次

<b>第1章 計画の策定にあたって</b> .....	<b>1</b>
1. 計画策定の趣旨.....	1
2. 計画の位置づけ.....	1
3. 計画の期間.....	2
4. 計画の捉え方.....	2
<b>第2章 現状と課題</b> .....	<b>3</b>
1. 人口・世帯の状況.....	3
2. 小中学生の運動、スポーツの状況.....	4
3. 公共スポーツ施設利用状況.....	9
4. スポーツに関する市民意識調査結果.....	11
5. 本市のスポーツ推進に向けた課題のまとめ.....	28
<b>第3章 基本的な考え方</b> .....	<b>32</b>
1. 基本理念.....	32
2. 計画の目標.....	33
3. 施策体系.....	34
4. 施策の展開.....	35
<b>第4章 計画の推進に向けて</b> .....	<b>46</b>
計画の進捗管理.....	46
<b>資料編</b> .....	<b>エラー! ブックマークが定義されていません。</b>
京丹後市スポーツ推進審議会条例.....	<b>エラー! ブックマークが定義されていません。</b>
京丹後市スポーツ推進審議会委員名簿.....	<b>エラー! ブックマークが定義されていません。</b>
京丹後市スポーツ推進計画策定経過.....	<b>エラー! ブックマークが定義されていません。</b>
用語解説.....	<b>エラー! ブックマークが定義されていません。</b>

# 第1章 計画の策定にあたって

## 1. 計画策定の趣旨

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進を図るとともに、生涯にわたり心身とも健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものです。また、スポーツを行うことで生まれる、人と人及び地域と地域の交流は、地域の一体感や活力を醸成するものです。

わが国では、これまで昭和36年に制定された「スポーツ振興法」に基づき、国民の心身の健全な発達と明るく豊かな国民生活を形成するために、スポーツの振興を行ってきました。しかし、近年、少子高齢化、情報化の進展、地域社会の空洞化、人間関係の希薄化など、日本の社会環境は著しく変化してきました。

そのため、スポーツが青少年の健全育成や体力の向上だけでなく、協働による地域振興や、経済への波及効果、健康で活力に満ちた長寿社会の創造、スポーツによる国際貢献や開発支援など、スポーツへの期待がますます高まってきました。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による、復旧・復興の過程の中で、「社会の絆」の重要性が改めて認識されています。

こうした状況をふまえ、国においては、制定から50年が経過した「スポーツ振興法」を見直し、新たに、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的とした「スポーツ基本法」が制定されました。この法律における役割をふまえ、スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を創出するため、平成24年3月に「スポーツ基本計画」が策定されました。

本市では、「京丹後市総合計画・後期基本計画」及び「京丹後市スポーツ振興計画」において生涯スポーツ社会の実現に向けてスポーツ振興を図ってきましたが、平成24年度と平成25年度の2か年にわたって京丹後市スポーツ振興計画を評価・検証し、国の定める「スポーツ基本計画」とともに、京都府のスポーツ推進計画及び市の総合計画をふまえながら見直しを行い、年齢や性別、障害等を問わず、広く市民がその適性やライフステージに応じてスポーツに参画できるよう、中長期的な展望に立った「京丹後市スポーツ推進計画」を策定します。

## 2. 計画の位置づけ

本計画は、国の「スポーツ基本計画」とともに、京都府のスポーツ推進計画及び「京丹後市総合計画」をはじめ、本市の関連計画との整合性を図り策定しています。

また、本計画では、「スポーツ」を幅広く捉え、競技種目だけにとどまらず、ウォーキングやジョギングなど、レベルや内容に関わらず、体を動かすすべての運動を含み、スポーツ分野の施策を体系化し、目指す方向や取り組みの内容を具体的に示しています。

### 3 . 計画の期間

本計画は、既に策定している「京丹後市スポーツ振興計画」(計画期間は平成 20 年度から平成 29 年度まで)における目標及び各施策の中間評価並びに見直しを行い策定しました。

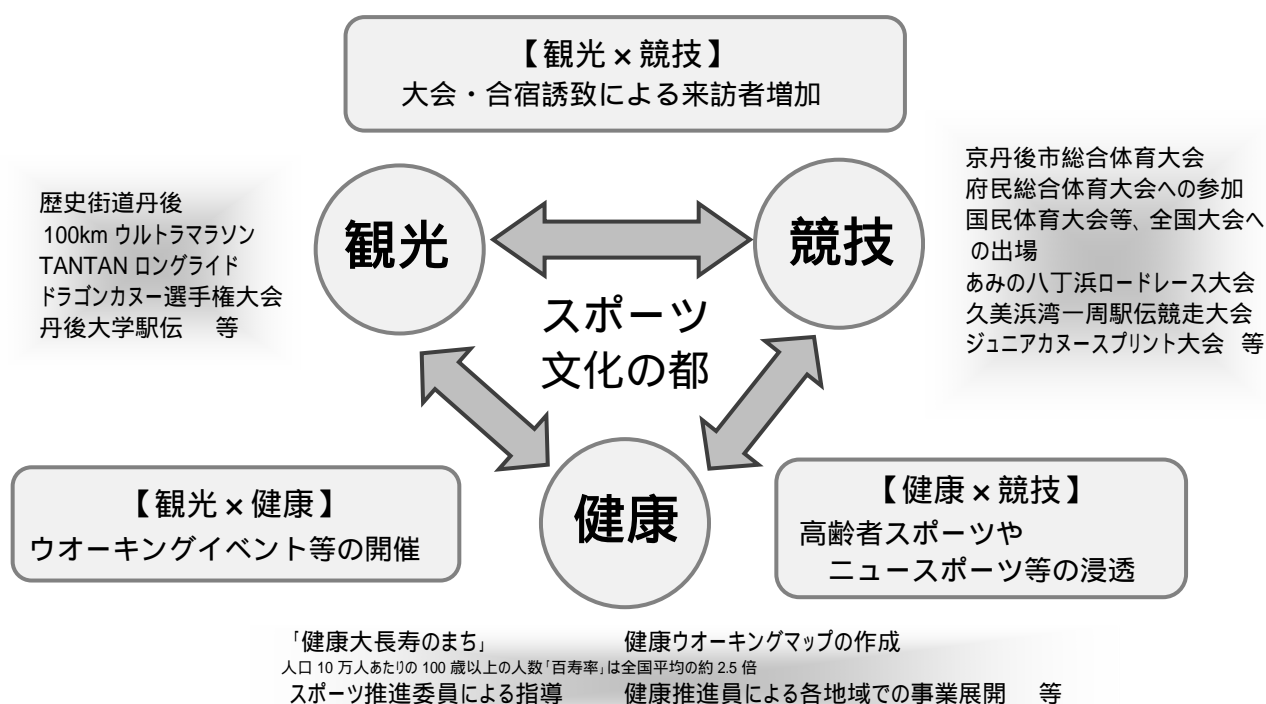
平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
京丹後市スポーツ振興計画				中間見直し		京丹後市スポーツ推進計画			

### 4 . 計画の捉え方

「スポーツ」に日頃から親しんでいる人はもちろんですが、健康志向の高まる中、ウォーキングやジョギングなどで気軽に体を動かす人、各種スポーツ大会やイベントなどの運営に携わることでスポーツに関わる人も増えてきています。

スポーツ基本法は、前文で「スポーツは、世界共通の人類の文化である」という言葉から始まります。

本市では、豊かな自然環境を活かした様々なスポーツが展開されています。また、全国的にみても「健康大長寿のまち」として、食を通じた健康への取り組みも充実しています。本計画では「スポーツ文化」という視点を強化し、スポーツが競技や観光、健康と連携を図ることで、「スポーツ文化の都」として本市が位置づけられるよう、多面的なスポーツ施策の展開を図ります。



## 第2章 現状と課題

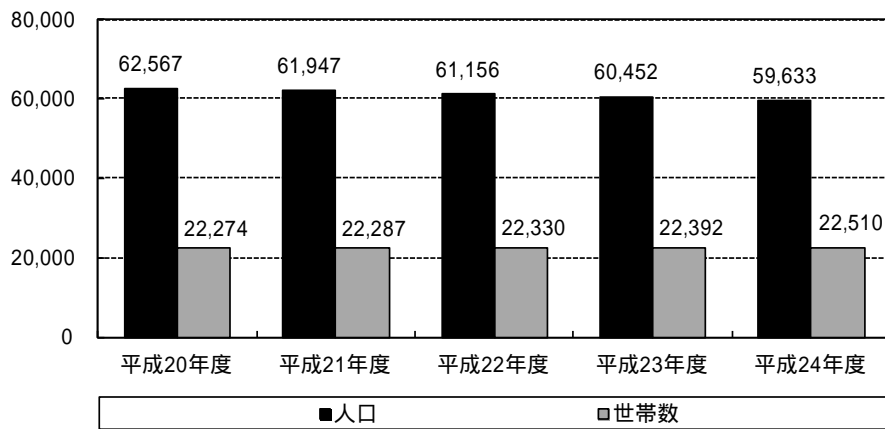
### 1. 人口・世帯の状況

#### (1) 人口・世帯の推移

本市の人口及び世帯数をみると、人口は減少傾向であり、平成24年度には59,633人となっています。世帯数はほぼ横ばいで推移しており、平成24年度には22,510世帯となっています。

人口・世帯の推移

(人・世帯)

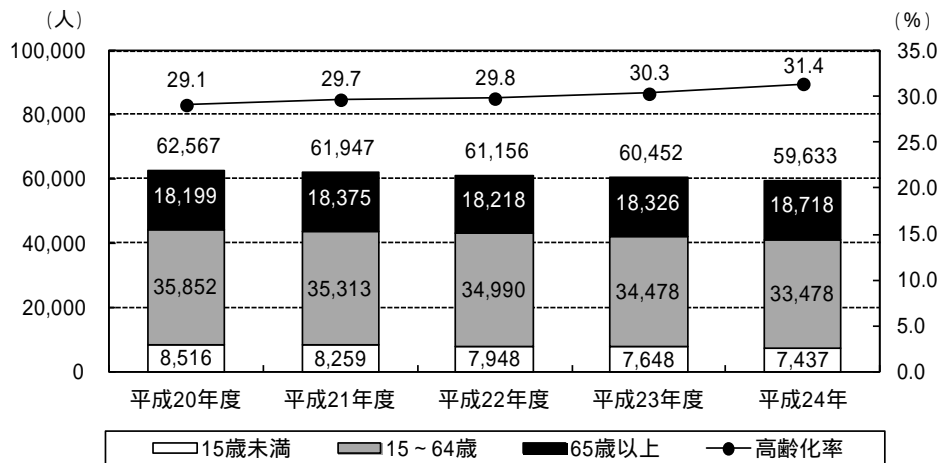


資料: 住民基本台帳(各年3月末)

#### (2) 年齢階層別人口の推移

年齢階層別人口の推移をみると、15歳未満人口、15～64歳人口が減少傾向にある一方で、65歳以上人口は増加し続けています。高齢化率は、平成24年度には31.4%と、約3人に1人が高齢者となっており、心身機能の維持・向上、生きがいくりの観点からも、高齢者に向けたスポーツ機会の充実が一層重要となっています。

年齢階層別人口の推移



資料: 住民基本台帳(各年3月末)

## 2 . 小中学生の運動、スポーツの状況

### (1) 体力テストの結果

市内の小学校5年生と中学校2年生の体力テストの結果は、全国の結果と比較すると、小学校ではほぼ全国と同程度ですが、中学校では種目によって低い傾向がみられるものがあり、学校での体育授業や部活動の充実など、体力づくりが課題となっています。

体力テストの結果（京丹後市・全国：小学5年生）

種目	小学5年生男子 【京丹後市】	小学5年生男子 【全国】	差	小学5年生女子 【京丹後市】	小学5年生女子 【全国】	差
	平成 24 年度	平成 24 年度		平成 24 年度	平成 24 年度	
握力(kg)	16.9	16.7	0.2	16.7	16.2	0.5
上体起こし (回:30 秒間)	19.8	19.4	0.4	19.0	17.9	1.1
長座体前屈(cm)	30.0	32.6	2.6	34.8	36.6	1.8
反復横跳び (回:20 秒間)	43.5	41.5	2.0	42.6	39.2	3.4
20mシャトルラン (回)	59.8	51.5	8.3	49.9	39.8	10.1
50m走(秒)	9.3	9.3	-	9.6	9.6	-
立ち幅跳び(cm)	153.9	152.3	1.6	149.8	144.8	5.0
ボール投げ(m)	26.5	23.8	2.7	16.8	14.2	2.6

資料:体力・運動能力調査

体力テストの結果（京丹後市・全国：中学2年生）

種目	中学2年生男子 【京丹後市】	中学2年生男子 【全国】	差	中学2年生女子 【京丹後市】	中学2年生女子 【全国】	差
	平成 24 年度	平成 24 年度		平成 24 年度	平成 24 年度	
握力(kg)	27.4	29.6	2.2	23.5	23.9	0.4
上体起こし (回:30 秒間)	27.8	27.5	0.3	22.7	22.8	0.1
長座体前屈(cm)	40.5	43.2	2.7	42.3	45.0	2.7
反復横跳び (回:20 秒間)	51.4	51.5	0.1	45.7	45.4	0.3
持久走(秒) 男子 1500m 女子 1000m	383.0	391.0	8.0	280.0	292.2	12.2
50m走(秒)	7.9	8.0	0.1	8.8	8.8	-
立ち幅跳び(cm)	197.3	195.3	2.0	171.4	167.1	4.3
ボール投げ(m)	20.3	21.2	0.9	13.5	13.1	0.4

「」は京丹後市が全国を上回り、「」は京丹後市が全国を下回っていることを表します。

資料:体力・運動能力調査

## (2) 中学校運動部活動状況

市内の中学校運動部活動の生徒在籍状況では、学校によっては種目が限られていることから、学校間や地域スポーツの連携も必要となっています。

生徒在籍状況（平成25年5月現在）

単位：人

		軟式 野球	ソフト ボール	パレー ボール	バスケッ トボール	ソフト テニス	卓球	陸上 競技	サッカー	体操 競技	カヌー	計
峰山 中学校	男子1年	8	-	-	12	6	9	14	11	5	-	65
	男子2年	8	-	-	9	11	2	11	9	8	-	58
	男子3年	16	-	-	12	9	10	13	5	6	-	71
	計	32	-	-	33	26	21	38	25	19	-	194
	女子1年	-	13	6	10	6	6	9	-	4	-	54
	女子2年	-	8	8	9	16	4	1	-	4	-	50
	女子3年	-	7	9	10	10	2	6	-	8	-	52
計	-	28	23	29	32	12	16	-	16	-	156	
大宮 中学校	男子1年	9	-	-	9	20	2	5	9	-	-	54
	男子2年	14	-	-	12	12	4	8	8	-	-	58
	男子3年	9	-	-	7	10	5	16	10	-	-	57
	計	32	-	-	28	42	11	29	27	-	-	169
	女子1年	-	10	9	9	15	6	4	-	-	-	53
	女子2年	1	9	3	6	12	6	7	-	-	-	44
	女子3年	-	3	5	5	10	3	1	2	2	-	31
計	1	22	17	20	37	15	12	2	2	-	128	
網野 中学校	男子1年	9	-	-	12	15	10	5	9	-	-	60
	男子2年	14	-	-	11	10	16	4	5	3	-	63
	男子3年	19	-	-	11	9	15	10	5	-	-	69
	計	42	-	-	34	34	41	19	19	3	-	192
	女子1年	-	-	9	6	16	2	6	-	4	-	43
	女子2年	-	-	1	11	15	3	4	-	1	-	35
	女子3年	-	-	7	8	10	-	5	-	8	-	38
計	-	-	17	25	41	5	15	-	13	-	116	
橘中 学校	男子1年	7	-	-	4	-	2	-	-	-	-	13
	男子2年	5	-	-	8	-	3	-	-	-	-	16
	男子3年	5	-	-	7	-	4	-	-	-	-	16
	計	17	-	-	19	-	9	-	-	-	-	45
	女子1年	-	-	4	7	-	2	-	-	-	-	13
	女子2年	-	-	10	1	-	5	-	-	-	-	16
	女子3年	-	-	5	6	-	2	-	-	-	-	13
計	-	-	19	14	-	9	-	-	-	-	42	
弥栄 中学校	男子1年	11	-	-	6	4	-	7	-	-	-	28
	男子2年	6	-	-	10	5	-	6	-	-	-	27
	男子3年	8	-	-	7	9	-	7	-	-	-	31
	計	25	-	-	23	18	-	20	-	-	-	86
	女子1年	-	10	4	-	13	-	3	-	-	-	30
	女子2年	-	6	7	-	10	-	4	-	-	-	27
	女子3年	-	13	4	-	7	-	3	-	-	-	27
計	-	29	15	-	30	-	10	-	-	-	84	

単位：人

		軟式 野球	ソフト ボール	バレー ボール	バスケット ボール	ソフト テニス	卓球	陸上 競技	サッカー	体操 競技	カヌー	計
宇川 中学校	男子1年	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
	男子2年	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
	男子3年	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4
	計	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	11
	女子1年	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	5
	女子2年	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	5
	女子3年	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	5
計	-	-	10	-	-	-	5	-	-	-	15	
間人 中学校	男子1年	3	-	-	9	-	7	8	-	-	-	27
	男子2年	6	-	-	7	-	4	3	-	-	-	20
	男子3年	9	-	-	3	-	1	2	-	-	-	15
	計	18	-	-	19	-	12	13	-	-	-	62
	女子1年	-	5	5	-	-	6	2	-	-	-	18
	女子2年	-	4	3	-	-	5	-	-	-	-	12
	女子3年	-	7	4	-	-	-	2	-	-	-	13
計	-	16	12	-	-	11	4	-	-	-	43	
久美浜 中学校	男子1年	6	-	-	17	8	-	11	-	-	5	47
	男子2年	7	-	-	11	4	-	15	-	-	5	42
	男子3年	12	-	-	15	9	-	6	-	-	9	51
	計	25	-	-	43	21	-	32	-	-	19	140
	女子1年	-	-	7	5	7	-	3	-	-	6	28
	女子2年	1	-	8	4	15	-	3	-	-	3	34
	女子3年	-	-	4	4	11	-	5	-	-	3	27
計	1	-	19	13	33	-	11	-	-	12	89	
合計	194	95	132	300	314	146	234	73	53	31	1,572	

資料：京丹後市教育委員会



中学校運動部活動



### (3) スポーツ競技の状況

京丹後市体育協会に登録しているスポーツ競技者の状況では、全体の登録数は平成22年度から平成24年度にかけて増減をしています。個別の種目では、「陸上」や「ソフトテニス」等が増加傾向にあるなか、「ゲートボール」や「グラウンド・ゴルフ」など、比較的高齢者が取り組む競技の登録者数が減少傾向にあることから、今後、種目別の競技者ニーズをさらに把握する必要があります。

京丹後市体育協会（登録者数）

単位：人

種目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
陸上	218	312	315
軟式野球	140	301	272
卓球	90	88	89
バレーボール	249	248	235
ソフトボール	616	619	634
ソフトテニス	105	110	124
柔道	16	16	14
剣道	51	54	55
ゲートボール	552	500	444
バドミントン	84	85	76
サッカー	147	129	127
テニス	65	60	58
グラウンド・ゴルフ	989	913	891
バスケットボール	133	136	133
ゴルフ	366	360	402
ボウリング	80	81	82
ソフトバレーボール	225	166	178
空手	28	30	30
スキー	55	84	91
エアロビクス	20	19	14
アーチェリー	21	17	17
カヌー	83	81	81
合計	4,333	4,409	4,362

資料：京丹後市体育協会

本市における青少年スポーツ教室の状況では、教室数・指導者数・参加児童生徒数のすべてにおいて、平成22年度から平成24年度にかけて減少しています。参加児童生徒数の減少の要因としては少子化によるものが大きいと思われます。個別の種目では、「バスケットボール」が平成22年度から平成24年度にかけて、すべてにおいて増加しています。また、「サッカー」「陸上」「体操」「スキー」では、平成22年度から平成24年度にかけて教室数は変化していませんが、指導者数・参加児童生徒数ともに増加しています。参加児童生徒数が増加傾向にある種目については、子どものスポーツへの意欲を損なわないよう、教室数を維持する・指導者数の増加など、引き続き指導者等の育成を図る必要があります。

#### 青少年スポーツ教室

単位：教室・人

種目	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
	教室数	指導者数	参加児童生徒数	教室数	指導者数	参加児童生徒数	教室数	指導者数	参加児童生徒数
野球	28	153	628	26	145	582	22	111	474
サッカー	8	51	314	8	52	296	8	60	339
バスケットボール	3	12	99	3	14	102	4	18	120
バレーボール	12	55	274	11	45	241	12	52	221
テニス	3	20	30	3	17	36	3	12	28
バドミントン	2	13	33	2	13	24	2	12	16
卓球	1	3	33	1	3	23	1	3	25
陸上	6	43	190	6	42	203	6	46	203
体操	1	11	33	1	12	40	1	12	50
剣道	7	36	95	8	41	94	8	36	88
柔道	4	10	53	4	10	43	4	9	38
空手	5	20	80	6	21	97	6	18	91
レスリング	2	10	40	2	9	47	2	8	35
少林寺拳法	1	2	8	1	2	7	1	3	7
カヌー	1	13	15	1	12	14	1	13	13
スキー	1	3	10	1	3	15	1	4	16
合計	85	455	1,935	84	441	1,864	82	417	1,764

資料：京丹後市教育委員会

#### 京丹後市における児童・生徒数の推移

単位：人

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
小学校	3,553	3,405	3,218
中学校	1,887	1,868	1,831
合計	5,440	5,273	5,049

資料：京丹後市教育委員会（各年度5月1日現在）

### 3 . 公共スポーツ施設利用状況

本市における主な公共スポーツ施設利用回数及び利用人数は、平成 22 年度から平成 23 年にはともに増加しましたが、平成 24 年度では利用人数が減少しています。しかし、「峰山途中ヶ丘公園グラウンド・ゴルフコース」「網野体育センター（体育室）」「豊栄山村広場（グラウンド）」「竹野体育館」については、経年的にみても利用回数及び利用人数ともに増加傾向にあります。

公共スポーツ施設利用状況

単位：回・人

公共施設	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
峰山途中ヶ丘公園多目的グラウンド	264	12,853	270	15,347	278	15,197
峰山途中ヶ丘公園グラウンド・ゴルフコース	264	11,387	318	13,615	342	14,499
峰山総合公園峰山球場	123	11,410	109	12,610	104	11,210
峰山総合公園サブグラウンド	80	5,020	73	5,340	76	5,580
峰山総合公園テニスコート	1,061	11,010	959	10,790	1,152	12,970
吉原グラウンド	98	4,877	49	2,610		
峰山練成道場	33	466	117	1,561		
紅葉ヶ丘運動場	4	60	19	109	21	126
いさなごコート	562	10,372	543	10,452	556	10,598
大宮社会体育館	839	25,146	917	28,603	880	25,861
大宮自然運動公園グラウンド	311	9,896	315	10,365	300	7,995
大宮自然運動公園テニスコート	186	2,163	188	1,816	252	1,939
八丁浜シーサイドパーク	95	32,609	108	27,381	140	23,495
網野体育センター（体育室）	678	17,852	824	21,093	1,027	27,574
網野体育センター（剣道室）	630	10,042	710	10,606	636	9,158
網野体育センター（柔道室）	432	6,719	431	7,461	437	7,659
網野体育センター（テニスコート）	117	1,310	194	2,855	193	2,645
三津体育館					133	2,405
三津グラウンド					0	0
網野グラウンド	513	20,376	676	26,584	504	19,150
網野屋内ゲートボール場	122	1,220	115	1,114	111	1,159

単位：回・人

公共施設	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
丹後社会体育館	412	9,196	558	12,595	504	10,606
豊栄山村広場（グラウンド）	269	10,507	321	11,663	337	12,994
豊栄山村広場（ゲートボール場）	243	2,430	240	2,400	245	2,450
竹野体育館	124	1,887	158	2,350	170	2,625
竹野グラウンド	66	2,620	68	2,541	87	3,414
弥栄総合運動公園（弥栄社会体育館）	732	20,819	756	21,828	741	19,132
弥栄総合運動公園グラウンド	184	10,190	181	7,790	279	14,205
弥栄総合運動公園（ゲートボール場）	861	10,699	769	9,726	706	9,479
弥栄総合運動公園（多目的広場）	0	0	0	0	4	40
弥栄柔剣道場	12	520	16	330	53	269
久美浜中央運動公園（グラウンド）	126	7,090	131	6,771	159	7,344
久美浜中央運動公園（テニスコート）	288	3,243	280	3,837	295	3,066
久美浜中央運動公園（ゲートボール場）	426	7,973	555	10,146	531	10,160
合計	10,155	281,962	10,968	302,289	11,253	295,004

資料：京丹後市教育委員会

本市における社会体育用学校開放施設の利用状況では、施設によって多少の増減はありますが、同水準で推移しています。

#### 社会体育用学校開放施設利用状況

単位：回・人

	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
小学校	9,615	234,511	10,676	265,174	10,081	267,614
中学校	3,179	77,165	3,694	88,253	3,621	85,322

資料：京丹後市教育委員会



丹後社会体育館



久美浜中央運動公園ゲートボール場

## 4. スポーツに関する市民意識調査結果

### (1) 調査の目的

この調査は、平成20年度に策定した京丹後市スポーツ振興計画について、国のスポーツ基本計画をふまえ、中間見直しを行う必要があることから、その基礎資料とするため、市民のスポーツに関する活動状況やスポーツに対する意識、また現状の課題などについて市民に対しアンケート形式で調査を実施しました。

### (2) 調査の項目

健康状態について	運動やスポーツの実施状況について
スポーツに関するボランティア活動について	京丹後市のスポーツ施策について
スポーツに関する情報について	現在の子どもを取り巻く環境について
回答者自身について	自由意見
総括	

### (3) 調査設計

- ・ 調査地域：市内全域
- ・ 調査対象：市内に在住する20歳～79歳の市民
- ・ 標本数：3,000人
- ・ 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- ・ 調査方法：郵送配布、郵送回収による調査
- ・ 調査期間：平成24年10月19日～平成24年11月5日

### (4) 回収状況

調査対象者数	回収件数(率)	有効回収件数(率)
3,000人	1,926件(64.2%)	1,919件(64.0%)

### (5) その他

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

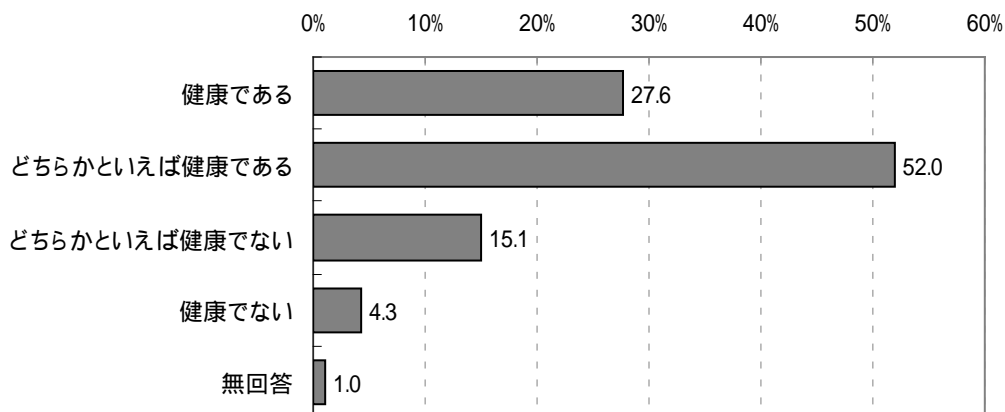
図表中の「N(number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。

## 健康状態について

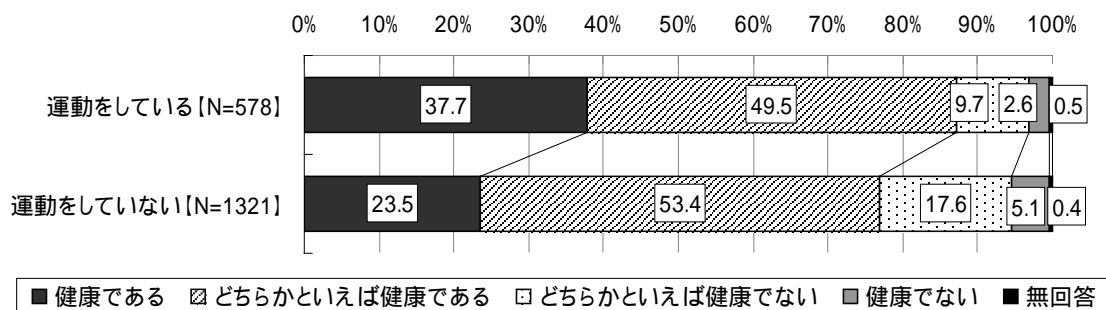
健康について感じていることについては、「どちらかといえば健康である」が52.0%とほぼ半数を占めています。また、「どちらかといえば健康である」と「健康である」を合わせた回答は79.6%となっており、健康と感じている人が約8割を占めています。

『普段から運動をしているか』別にみると、運動をしている人では健康と感じている(「健康である」+「どちらかといえば健康である」)割合が運動をしていない人より10.3ポイント上回っています。

健康について感じていること【N=1919】



健康について感じていること

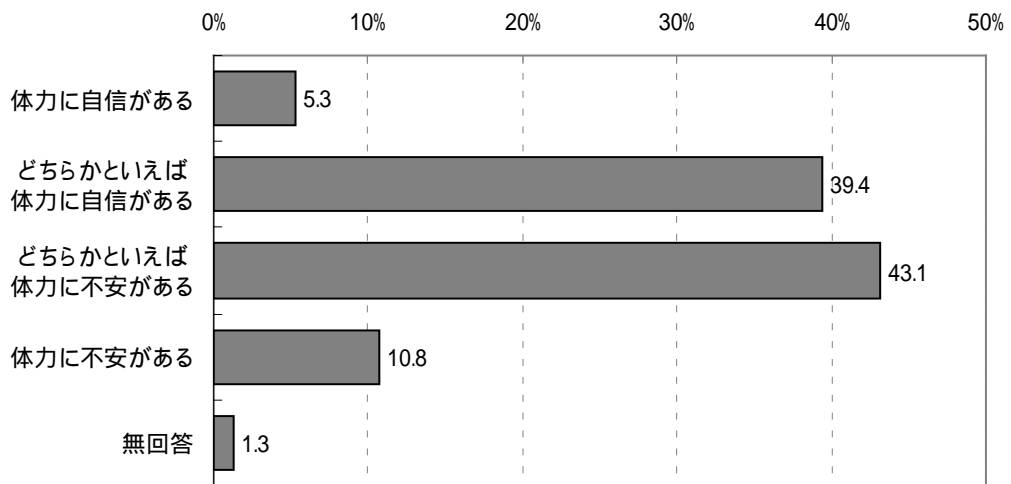


健康推進員による指導

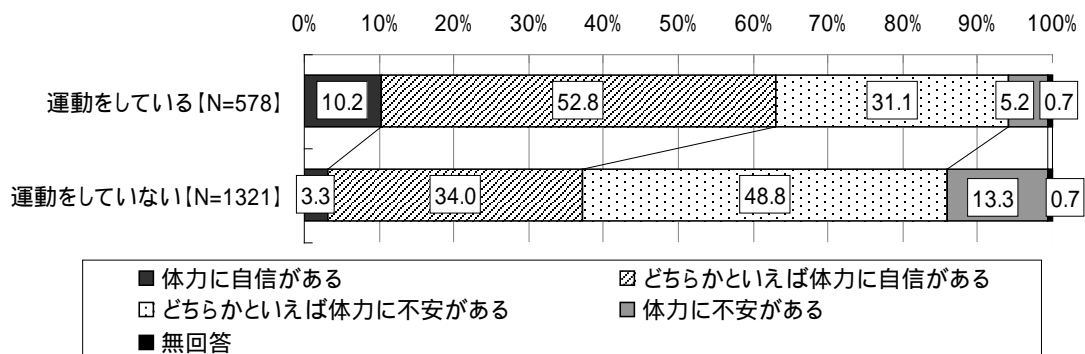
体力について感じていることについては、「どちらかといえば体力に不安がある」が43.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば体力に自信がある」が39.4%となっています。また、自信がある（「体力に自信がある」+「どちらかといえば体力に自信がある」）と回答した人は、不安がある（「どちらかといえば体力に不安がある」+「体力に不安がある」）と回答した人より9.2ポイント下回っています。

『普段から運動やスポーツをしているか』別にみると、運動をしている人で「体力に自信がある」と回答した人は10.2%となっており、運動していない人の3.3%を6.9ポイント上回っています。また、「体力に自信がある」+「どちらかといえば体力に自信がある」では、運動をしている人で6割を超えていますが、運動していない人では4割を切っています。

体力について感じていること【N=1919】

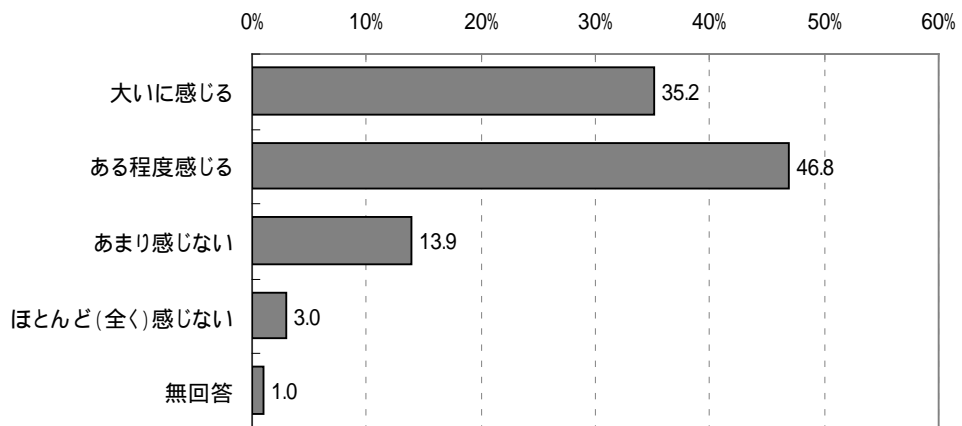


体力について感じていること



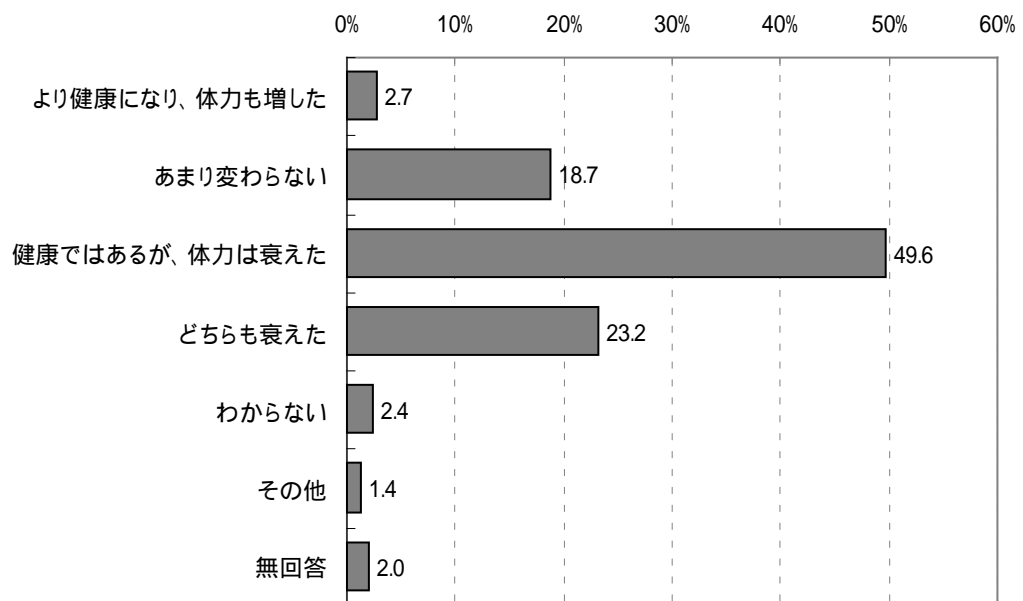
運動不足を感じているかについては、「ある程度感じる」が46.8%と最も多く、次いで「大いに感じる」が35.2%などとなっています。また、感じる(「大いに感じる」+「ある程度感じる」と回答した人は、感じない(「あまり感じない」+「ほとんど(全く)感じない」)を65.1ポイント上回っています。

**運動不足を感じているか【N=1919】**



過去5年間の体力や健康の変化については、「健康ではあるが、体力は衰えた」が49.6%と最も多く、次いで、「どちらも衰えた」が23.2%、「あまり変わらない」が18.7%などとなっています。

**過去5年間の体力や健康の変化【N=1919】**

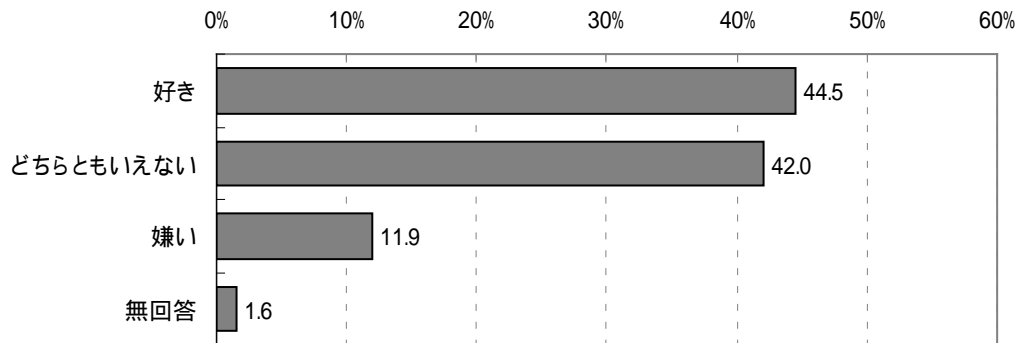




## 運動やスポーツの実施状況について

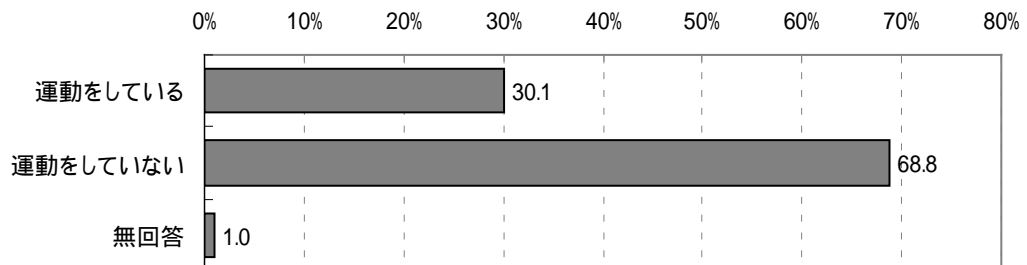
運動やスポーツが好きかどうかについては、「好き」が44.5%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」が42.0%、「嫌い」が11.9%などとなっています。

運動やスポーツは好きか【N=1919】



普段から運動やスポーツをしているかどうかについては、「運動をしていない」は68.8%で、「運動をしている」と回答した人の2倍以上となっています。

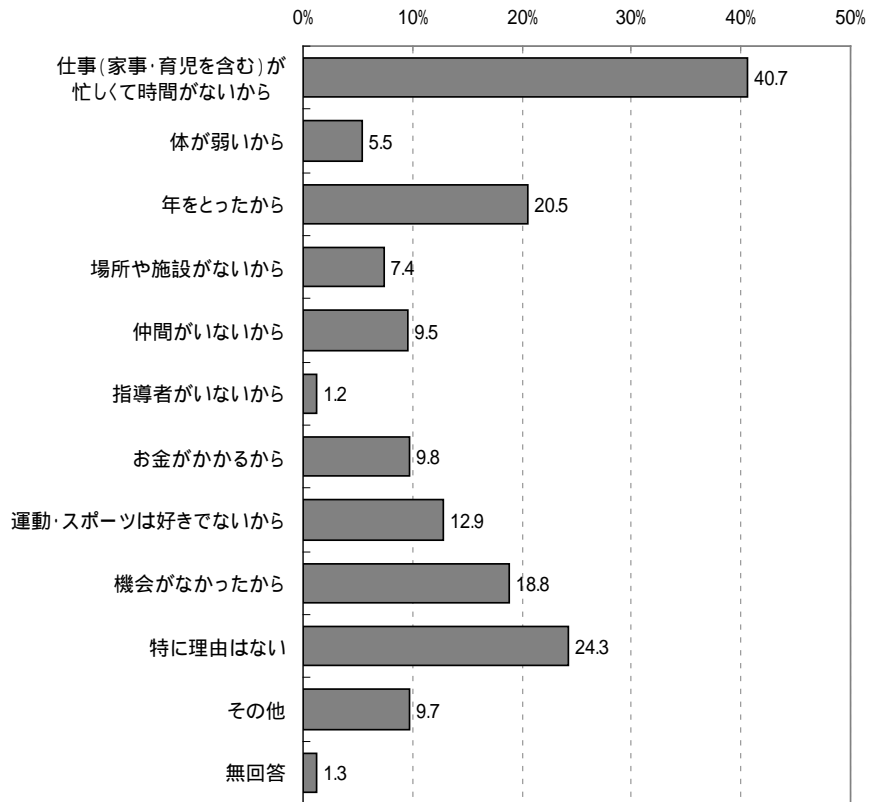
普段から運動やスポーツをしているか【N=1919】



大宮町フレッシュ歩こう会

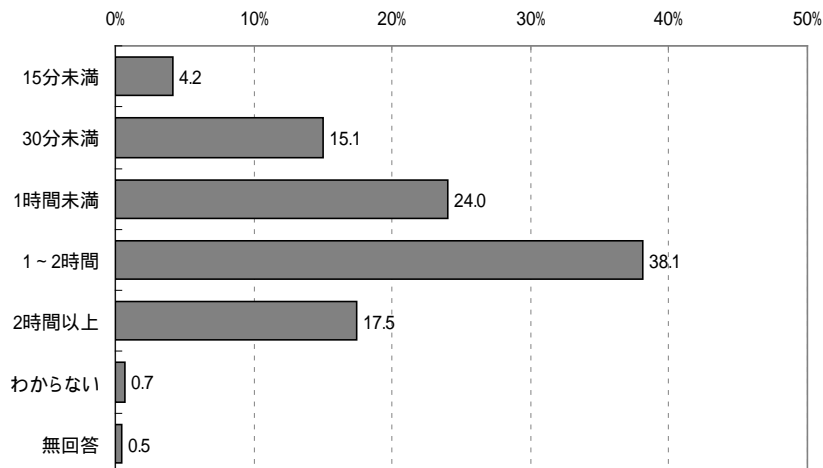
「運動をしていない」方の理由については、「仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから」が40.7%と最も多く、次いで、「特に理由はない」が24.3%、「年をとったから」が20.5%、「機会がなかったから」が18.8%などとなっています。

### 運動やスポーツをしていない理由【N=1321】



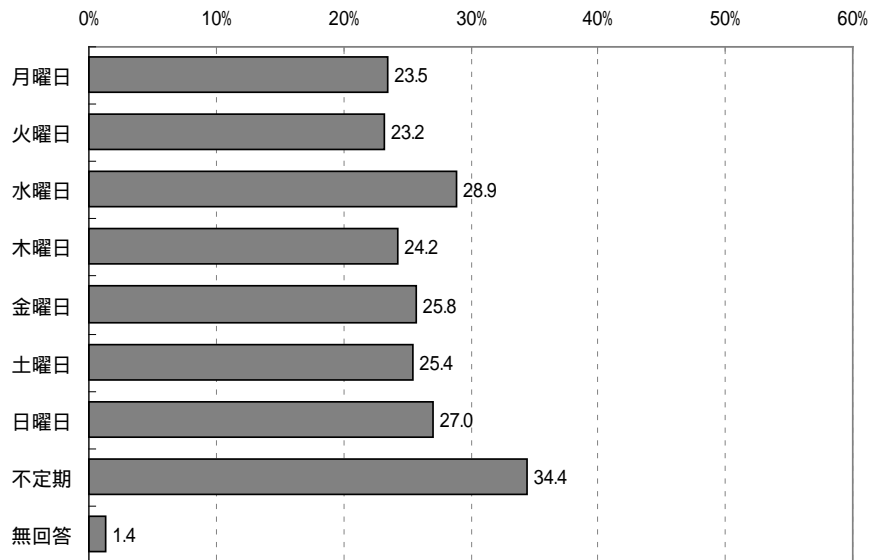
「運動している」方の1回に運動やスポーツをする平均時間は、「1～2時間」が38.1%と最も多く、次いで、「1時間未満」が24.0%、「2時間以上」が17.5%、「30分未満」が15.1%などとなっています。

### 1回に運動やスポーツをする平均時間【N=578】



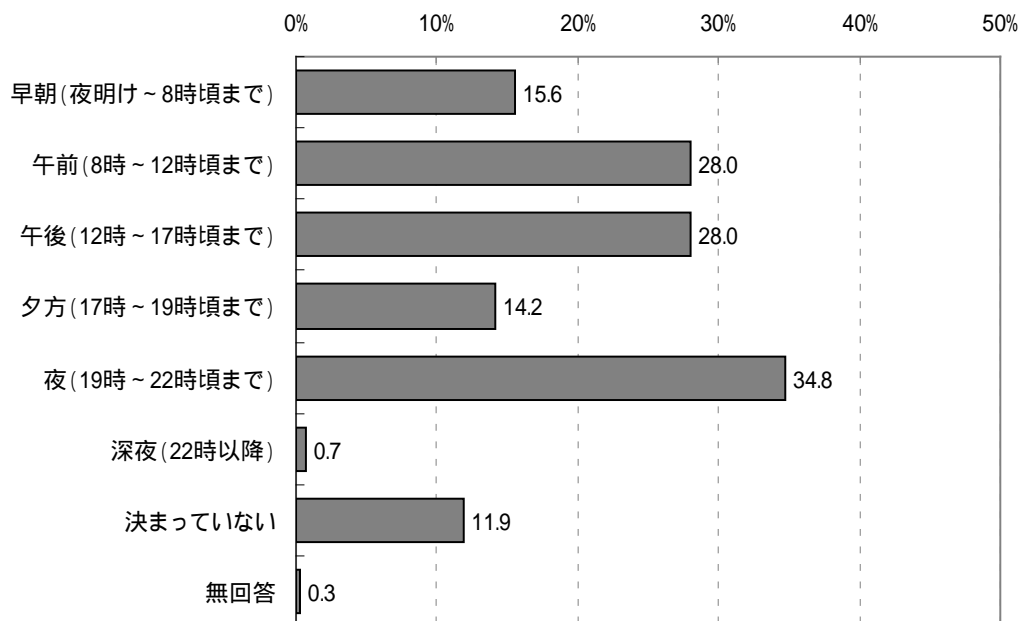
「運動している」方の運動やスポーツを行う曜日は、「不定期」の回答が34.4%と最も多く、次いで、「水曜日」が28.9%、「日曜日」が27.0%などとなっています。

運動やスポーツを行う曜日【N=578】



「運動している」方の運動やスポーツを行う時間帯は、「夜(19時～22時頃まで)」が34.8%と最も多く、次いで、「午前(8時～12時頃まで)」・「午後(12時から17時頃まで)」が28.0%、「早朝(夜明け～8時頃まで)」が15.6%などとなっています。

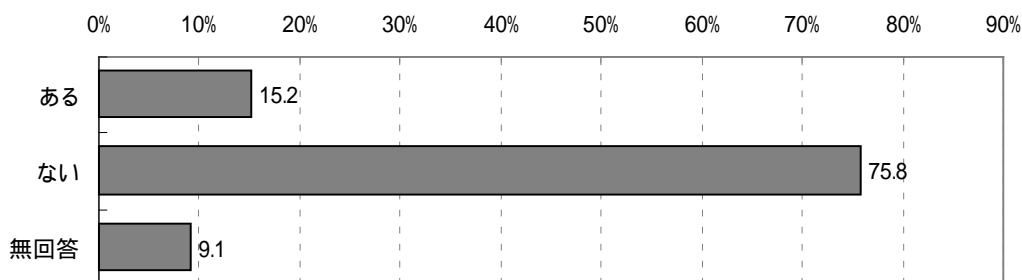
運動やスポーツを行う時間帯【N=578】



## スポーツに関するボランティア活動について

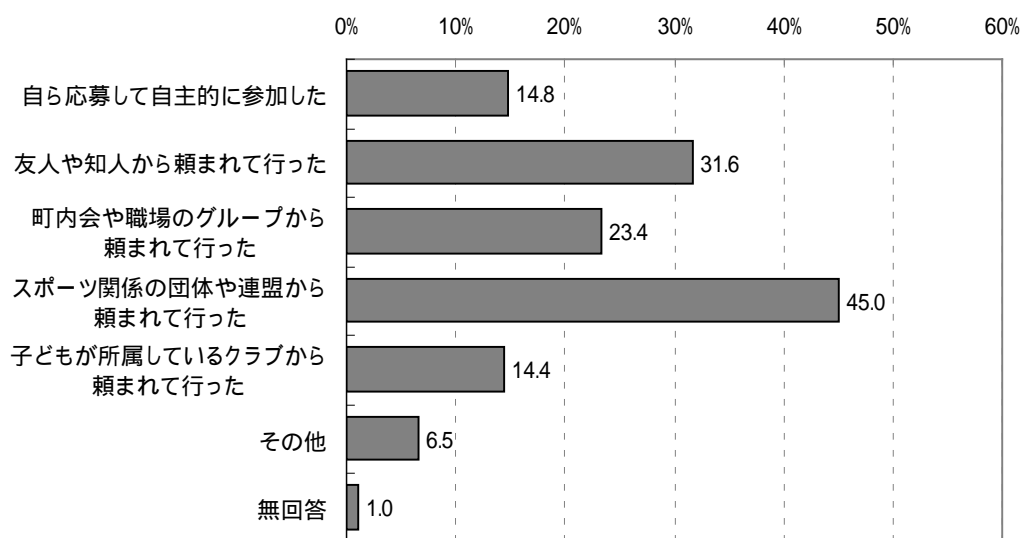
スポーツに関するボランティア活動に携わったことがあるかについては、「ない」は75.8%で、「ある」と回答した人の約5倍となっています。

### スポーツに関するボランティア活動に携わったことがあるか【N=1919】



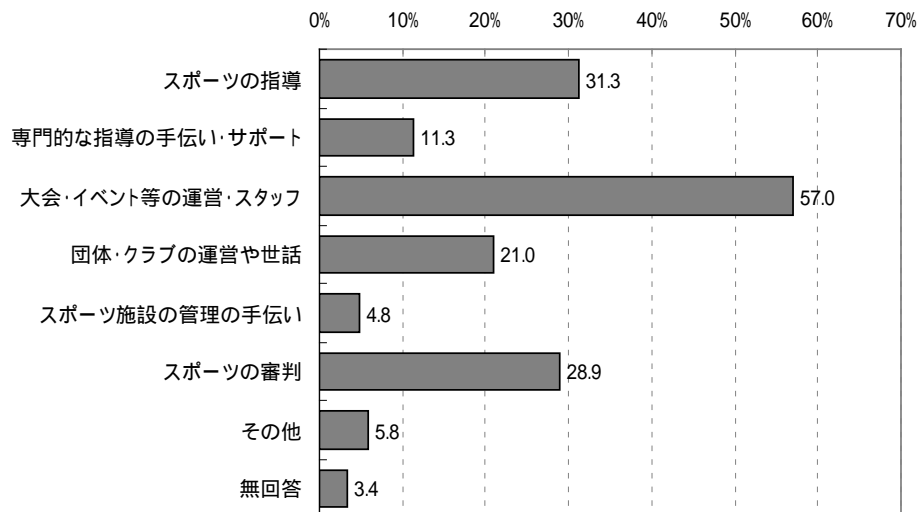
ボランティア活動に携わったことがある方の活動を行った経緯は、「スポーツ関係の団体や連盟から頼まれて行った」が45.0%と最も多く、次いで、「友人や知人から頼まれて行った」が31.6%、「町内会や職場のグループから頼まれて行った」が23.4%などとなっています。

### ボランティア活動を行った経緯【N=291】

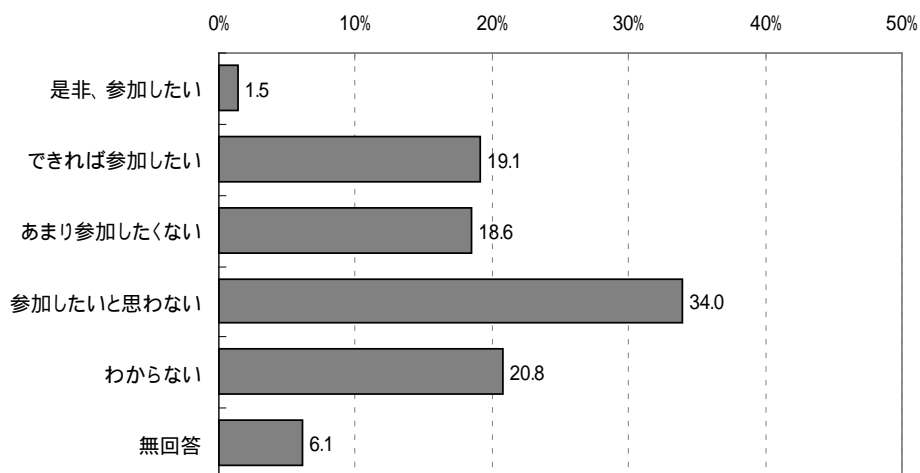


ボランティア活動に携わったことがある方の活動内容は、「大会・イベント等の運営・スタッフ」が57.0%と最も多く、次いで、「スポーツの指導」が31.3%、「スポーツの審判」が28.9%などとなっています。スポーツに関するボランティア活動に参加したいかについては、「参加したいと思わない」が34.0%と最も多くなっています。また、参加したくない(「あまり参加したくない」+「参加したいと思わない」)が52.6%と約半数を占めています。

### 行ったボランティア活動【N=291】



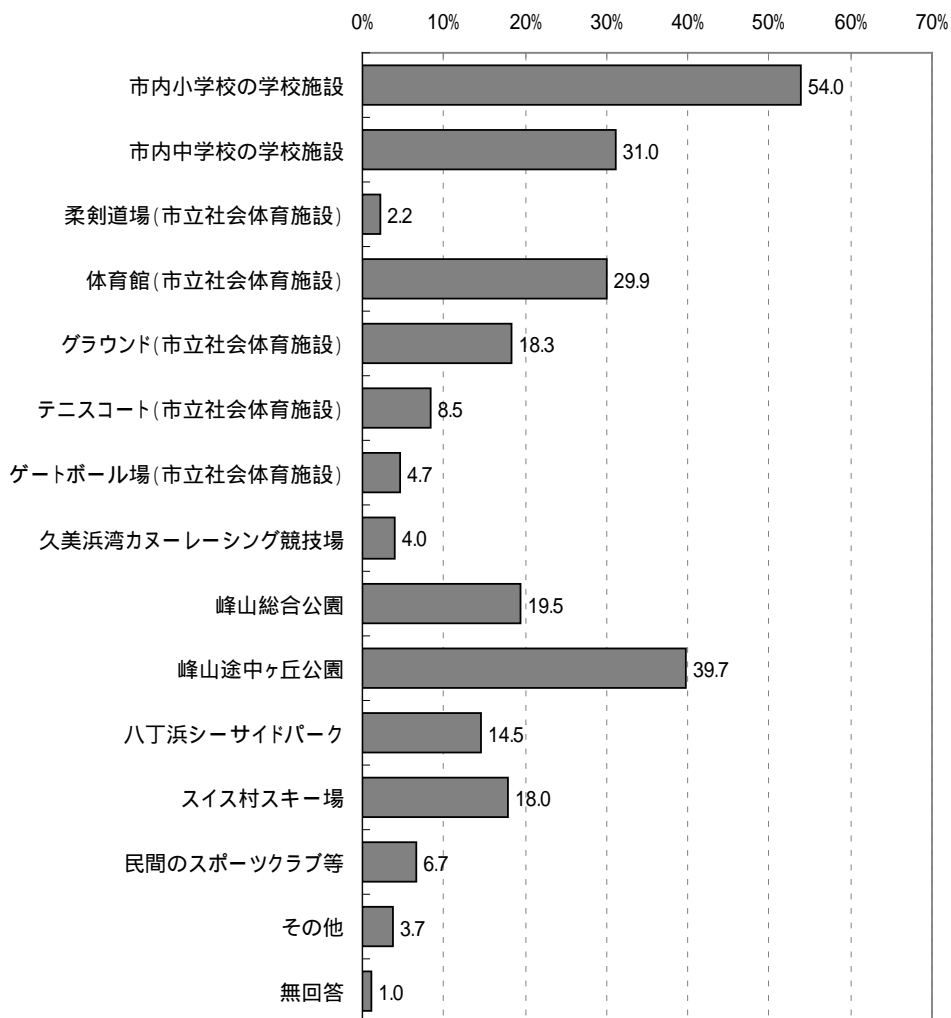
### スポーツに関するボランティア活動に参加したいか【N=1919】



## 京丹後市のスポーツ施策について

京丹後市のスポーツ施設を利用した方の利用状況は、「市内小学校の学校施設」が54.0%と最も多く、次いで、「峰山途中ヶ丘公園」が39.7%、「市内中学校の学校施設」が31.0%、「体育館(市立社会体育施設)」が29.9%などとなっています。

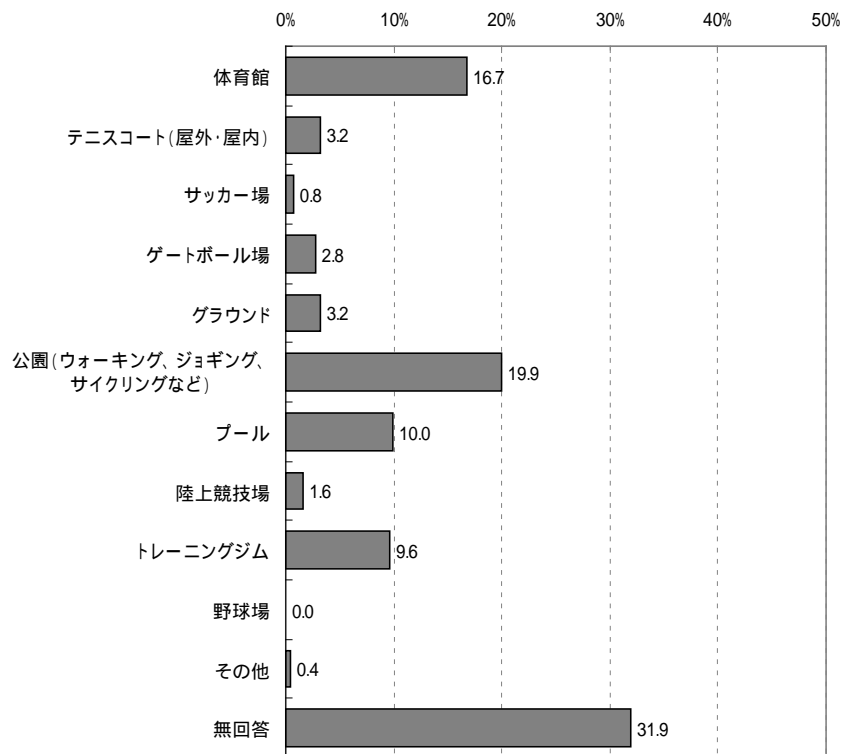
使用したことのある京丹後市のスポーツ施設・設備【N=802】



峰山途中ヶ丘陸上競技場

京丹後市のスポーツ施設数について「不足している」と答えた方に不足していると思う施設についてたずねたところ、「公園(ウォーキング、ジョギング、サイクリングなど)」が19.9%と最も多く、次いで、「体育館」が16.7%、「プール」が10.0%、「トレーニングジム」が9.6%などとなっています。

**不足していると思う施設【N=251】**



久美浜中央運動公園グラウンド

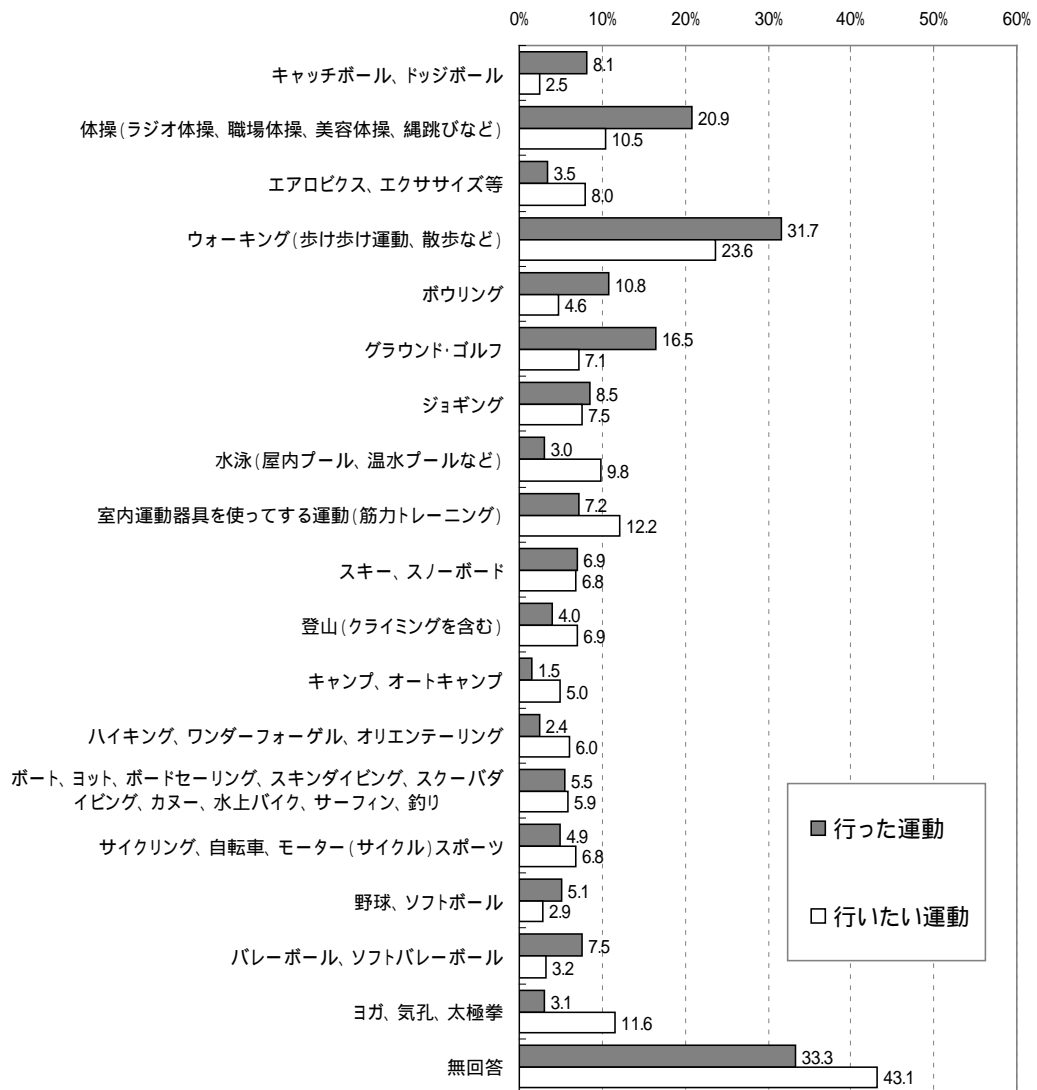


ソフトバレーボール大会(丹後社会体育館)

この1年間で行った運動やスポーツ、今後行いたい運動やスポーツについては、行った運動では、「ウォーキング(歩け歩け運動、散歩など)」が31.7%と最も多く、次いで、「体操(ラジオ体操、職場体操、美容体操、縄跳びなど)」が20.9%、「グラウンド・ゴルフ」が16.5%などとなっています。今後行いたい運動では、「ウォーキング(歩け歩け運動、散歩など)」が23.6%と最も多く、次いで、「室内運動器具を使ってする運動(筋力トレーニング)」が12.2%、「ヨガ、気功、太極拳」が11.6%などとなっています。

**この1年間で行った運動やスポーツ、今後行いたい運動やスポーツ【N=1919】**

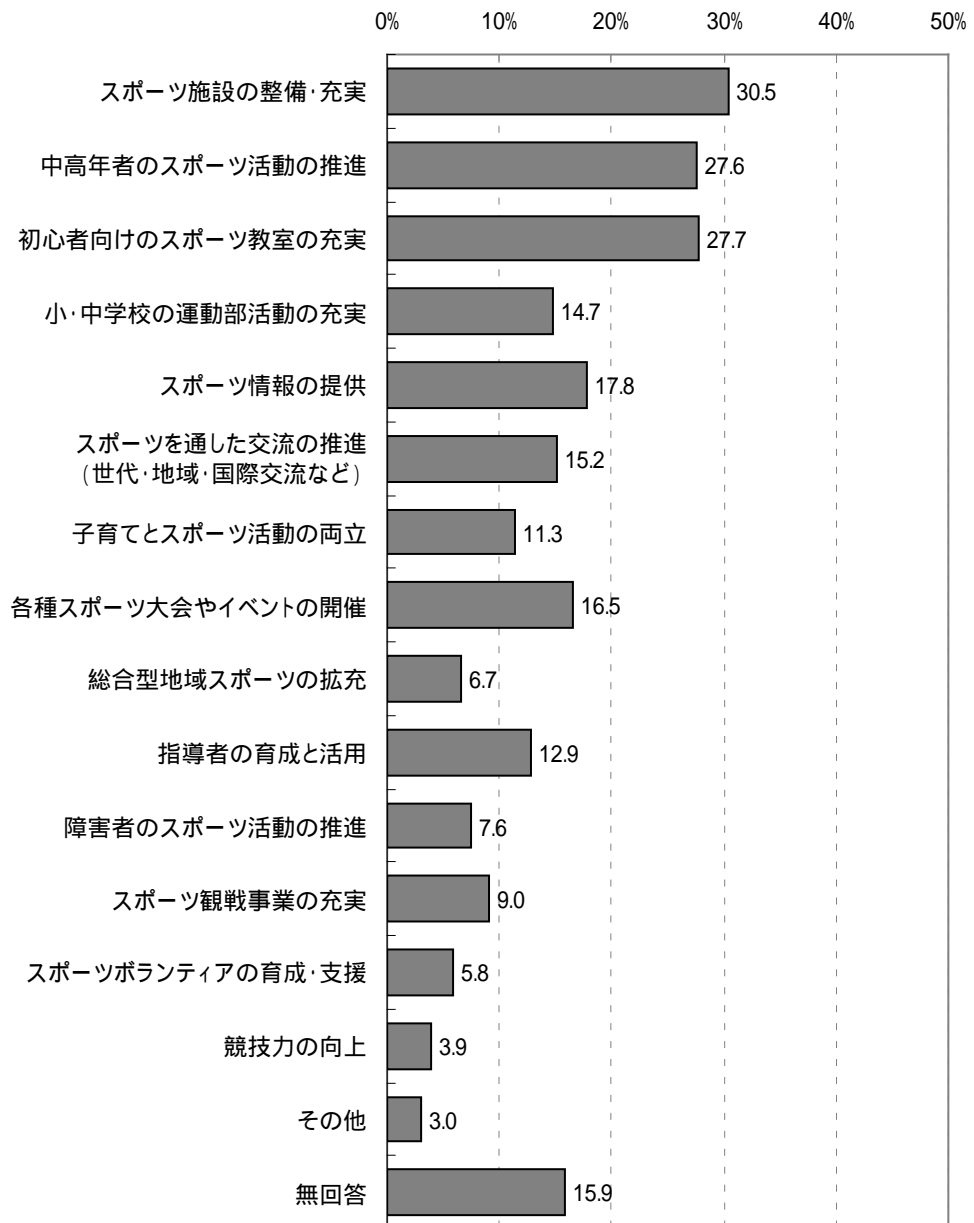
(行った運動・行いたい運動：ともに5%以上の項目)





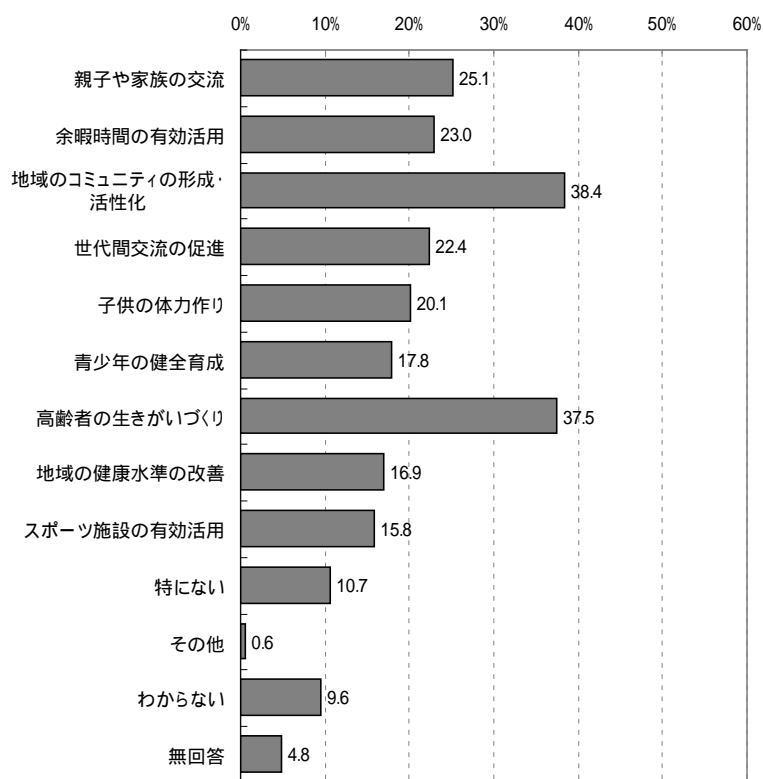
スポーツ振興のために力を入れてほしいことについては、「スポーツ施設の整備・充実」が30.5%と最も多く、次いで、「初心者向けのスポーツ教室の充実」が27.7%、「中高年者のスポーツ活動の推進」が27.6%、「スポーツ情報の提供」が17.8%などとなっています。

スポーツ振興のために力を入れてほしいこと【N=1919】



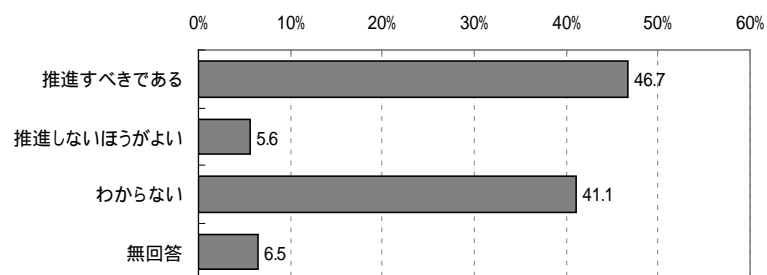
スポーツ振興への期待については、「地域のコミュニティの形成・活性化」が38.4%と最も多く、次いで、「高齢者の生きがいづくり」が37.5%、「親子や家族の交流」が25.1%などとなっています。

### スポーツ振興への期待【N=1919】



スポーツ大会誘致とその産業活性化の取り組みについては、「推進すべきである」が46.7%で、「推進しないほうがよい」と回答した人の約8倍となっています。また、約4割の人は「わからない」と回答しています。

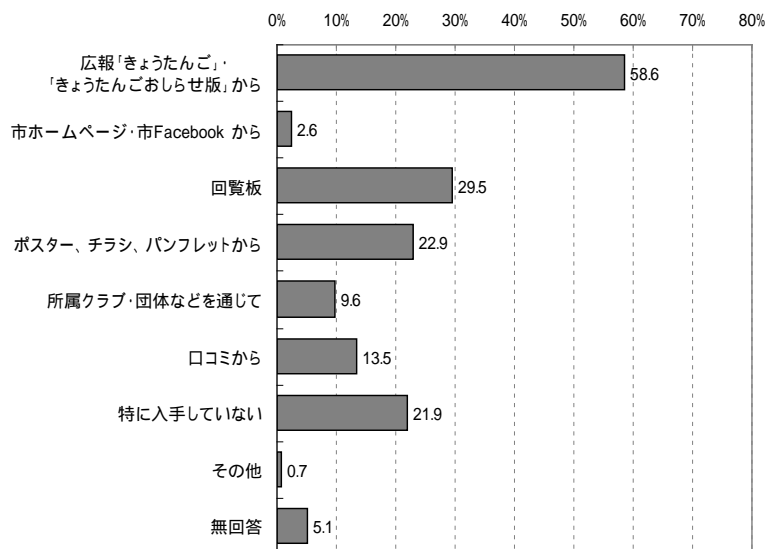
### スポーツ大会誘致とその産業活性化の取り組みについての考え【N=1919】



## スポーツに関する情報について

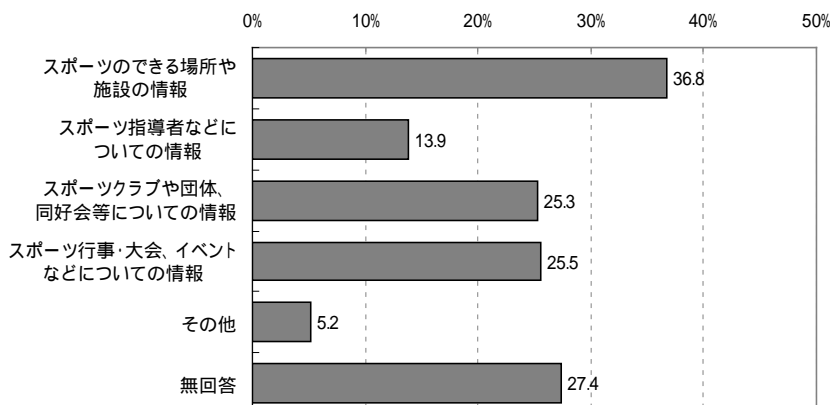
スポーツに関する情報の入手方法については、『広報「きょうたんご」・「きょうたんごおしらせ版」から』が58.6%と最も多く、次いで、「回覧板」が29.5%、「ポスター、チラシ、パンフレットから」が22.9%などとなっています。

### スポーツに関する情報の入手方法【N=1919】



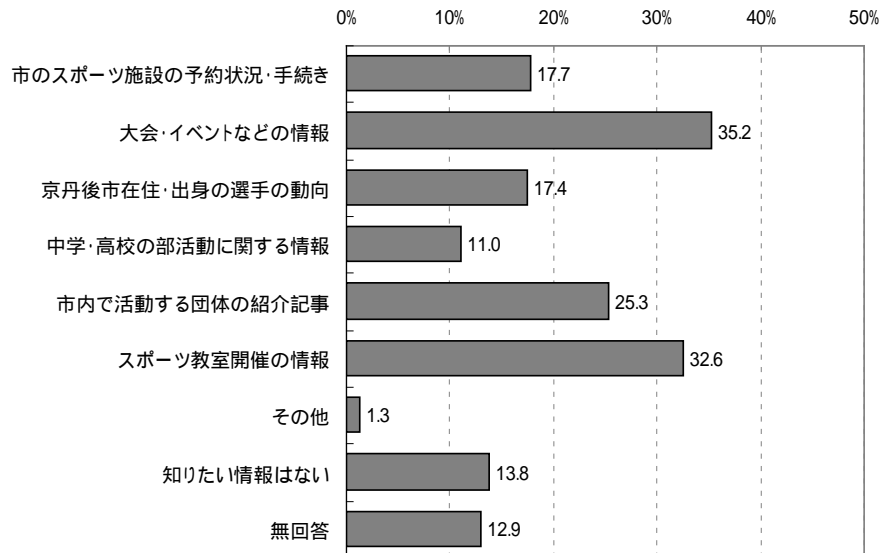
不足していると思うスポーツ情報については、「スポーツのできる場所や施設の情報が36.8%と最も多く、次いで「スポーツ行事・大会、イベントなどについての情報が25.5%、「スポーツクラブや団体、同好会等についての情報が25.3%などとなっています。

### 不足していると思うスポーツ情報【N=1919】



知りたいスポーツ情報については、「大会・イベントなどの情報」が35.2%と最も多く、次いで、「スポーツ教室開催の情報」が32.6%、「市内で活動する団体の紹介記事」が25.3%などとなっています。

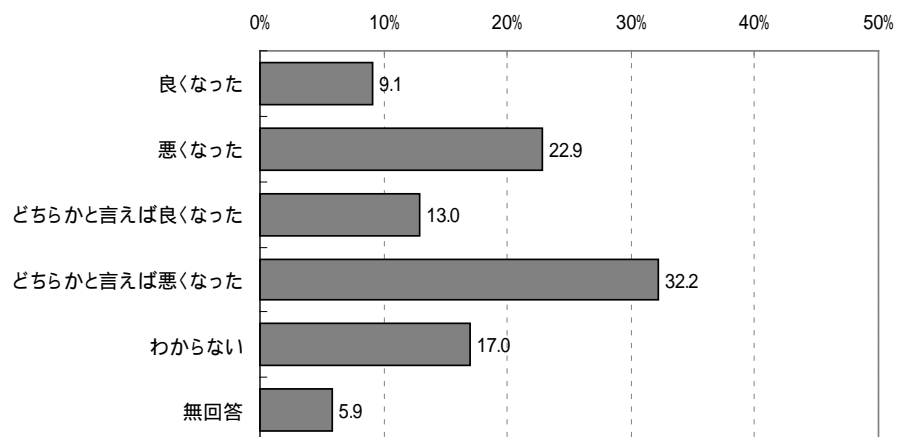
### 知りたいスポーツ情報【N=1919】



### 現在の子どもを取り巻く環境について

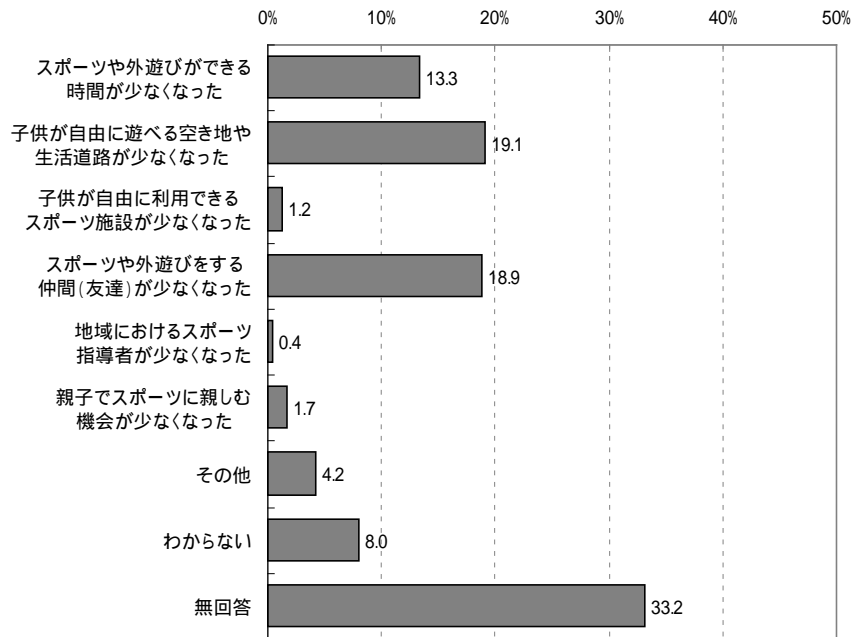
自身の子ども時代と比較した現在の子どものスポーツ環境については、「どちらかといえば悪くなった」が32.2%と最も多く、次いで「悪くなった」が22.9%、「わからない」が17.0%などとなっています。また、「良くなった」+「どちらかといえば良くなった」と回答した人は22.1%と約2割にとどまっています。

### 自身の子ども時代と比較した現在の子どものスポーツ環境【N=1919】



悪くなったと思う現在の子どもスポーツ環境については、「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」が19.1%と最も多く、次いで、「スポーツや外遊びをする仲間(友達)が少なくなった」が18.9%、「スポーツや外遊びができる時間が少なくなった」が13.3%などとなっています。

悪くなったと思う現在の子どもスポーツ環境【N=1383】



### 総括

健康と感じている人が多いにもかかわらず、自身の運動不足や体力の低下を感じている人が多いことがうかがえます。また、運動をしていない人の理由では、忙しくて時間がないという回答が最も多くあがっていました。さらに、市内のスポーツ施設で不足している施設の要望が多いことや、スポーツボランティアへの関心が低いことなど、スポーツ活動を取り巻く環境にも課題が多くみられます。一方、スポーツクラブ等の団体活動やスポーツ振興に地域間の交流や高齢者の生きがいづくりを望むなど、運動やスポーツ活動に対して肯定的な考えを持つ人が多いことがうかがえます。

今後、このような課題を改善していくために、子どもの頃からスポーツに親しむことのほか、気軽に参加できる活動やイベントの推進、子どもから高齢者まで多くの市民の方に生涯を通して運動を継続することができるスポーツ環境の整備、読みやすく親しみやすいスポーツの広報を発行し、年齢や運動の有無を問わず多くの人に興味を持ってもらうなど、様々な角度からスポーツ活動を後押ししていくことが必要と考えられます。



京たngoスポーツ

## 5 . 本市のスポーツ推進に向けた課題のまとめ

生涯にわたってスポーツに取り組むためには、世代ごとの課題を把握し、必要な取り組みについて整理する必要があります。また、誰もが気軽にスポーツができる環境づくりに向けて、これまでの京丹後市におけるスポーツ施策の展開をふまえ、アンケート調査結果から市民意向を検証し、スポーツを支える人材、ボランティアの育成、施設の整備・充実、情報発信など、スポーツ環境の整備に向けた取り組みを推進し、スポーツのまちづくりの実現を目指します。

### (1) これまでのスポーツ施策の評価

本市では、平成20年3月に「京丹後市スポーツ振興計画」を策定し、「生涯スポーツの推進」「子どもスポーツの充実」「スポーツ競技力の向上」「スポーツ・レクリエーション施設等の整備充実」を柱に目標達成に向けて各施策の展開を図ってきました。

#### 「生涯スポーツの推進」

多くの市民が、日常生活の中で、子どもから大人までそれぞれの志向に応じたスポーツライフを楽しんでいます。ジョギング等の軽スポーツから、トップを目標にしての競技スポーツ等、さまざまな形で体を動かしていますが、成人の週1回以上のスポーツ実施率は、依然として低い状況にあります。また、全国的に運動不足が原因で生活習慣病が増加傾向にあり、全国平均よりも高齢化の進んでいる本市では、中・高年者を中心とした健康・体力の維持増進、生きがいづくりなどに多様な効果のあるスポーツの推進が特に重要です。

#### 「子どもスポーツの充実」

近年、全国的に子どもの体力や運動能力が低下傾向にあります。この中であって、本市の中学生の体力テストの結果をみると、種目にもよりますが、全国平均を下回っているものがあります。全国大会等で活躍する児童生徒がいる一方で、スポーツをする子としない子の二極化が進んでいることから、青少年の心身にわたる健全育成のためにも、子どものうちからスポーツ活動への習慣付けを行うとともに、学校、家庭、地域と連携した意識の醸成を図り、全体的な競技力の向上、競技スポーツの振興に向けての土台づくりに取り組む必要があります。

#### 「スポーツ競技力の向上」

体育協会を中心に指導者の研修と交流機会や関係機関との連携のもと、施策の必要に応じた指導者の育成と交流機会の提供に努めています。

また、各地域でスポーツに慣れ親しんでいただくための取り組みとして、ニュースポーツを中心としたスポーツ教室を実施していますが、現状では参加者が少なく、日常的なスポーツ行動に結びついていないといった課題があります。さらに、体育協会の各競技団体において必要に応じてトップアスリートを招き講習会等を実施していますが、ジュニアの指導が中

心であり、中・高校生及び指導者の研修機会の拡充ができていません。今後、市民に競技スポーツについて関心を持ってもらうとともに、子どもスポーツや生涯スポーツの推進・充実、指導者やジュニア選手の育成を図る必要があります。

#### 「スポーツ・レクリエーション施設等の整備充実」

公共スポーツ施設は、地域によって施設の規模により利用頻度に差があります。また、施設によっては老朽化しているものもあり、施設の新たな整備や施設利用の見直しをする必要があります。

今後、市民のニーズに対応するため、既存の体育施設の維持修繕等の施設整備に努め、老朽化施設については、使用頻度・利用者ニーズを見極める中で、維持整備方針を検討します。

## (2) 今後のスポーツ施策の課題

本市におけるこれまでのスポーツ施策の評価及びアンケート結果を踏まえ、次のとおり課題を整理するとともに、今後の目標として計画を見直し、具体的な施策に活かしていくこととします。

### 課題 健康な体づくり

---

健康と感じている（「健康である」＋「どちらかといえば健康である」）人や、体力に自信がある（「体力に自信がある」＋「どちらかといえば体力に自信がある」）人の割合は、どちらも運動をしている人がしていない人を上回っていることから、運動が健康や体力づくりに大きく影響していることがうかがえます。

しかし、運動不足を感じているかについては、感じる（「大いに感じる」＋「ある程度感じる」）が8割を超えており、特に30～50代で大いに感じる割合が高くなっています。また、過去5年間の体力や健康の変化については、健康ではあるが体力は衰えたという割合が約5割となっていることから、今後、運動不足や体力の衰えを改善してもらう機会を増やすなど、生涯を通じて運動やスポーツ活動が行えるよう、健康施策との連携を図る必要があります。

### 課題 子どもに対するスポーツ環境の充実

---

自身の子ども時代と比較して、現在の子どものスポーツ環境は悪くなった（「悪くなった」＋「どちらかと言えば悪くなった」）と感じている人は半数を超えています。悪くなったと思う理由については、遊び場や仲間（友達）の減少が多くなっています。

今後、スポーツ環境の整備や地域間交流の促進を、大人だけでなく子どもについても対象にして、子どもの頃からスポーツに慣れ親しんでもらう必要があります。

## 課題 ライフステージに応じたスポーツ機会の拡充

---

小学生・中学生・高校生まではスポーツに取り組む機会が比較的多くありますが、学校を卒業すると、「スポーツする人」と「スポーツしない人」が完全に二極化してしまいます。

運動やスポーツが好きかどうかについては、「嫌い」の割合は低くなっていますが、「どちらともいえない」という割合が高いため、今後、スポーツの楽しさを知ってもらう機会をより多く設けることで、運動・スポーツが好きという割合を高めていく必要があります。

運動やスポーツをしていない理由については、仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間が無いという割合が4割以上、また運動をしている人の運動の平均時間は1～2時間、曜日は不定期、時間帯は夜（19時～22時頃まで）と回答している割合が各設問で最も高くなっていることから、短い空き時間にいつでも気軽に利用できる、アクセス環境や利用時間を考慮したスポーツ施設の整備等を行う必要があります。

一方、この1年間で行った（今後行いたい）運動やスポーツでは、ウォーキングや体操の割合が高いなど、活動の種目について、効果的な推進や支援を優先的に行う必要があります。

そのためには、特に各ライフステージの“つなぎ”の部分にあたる学生から社会人へ移行する時期、時間的なゆとりができる仕事を退職した時期など、各対象別にスポーツに親しむ機会やきっかけを提供していくなど、子どもから大人まで、生涯を通してスポーツに楽しみながら関わることのできる環境整備を行う必要があります。

## 課題 スポーツ競技力の向上

---

地元で育った競技選手が、その技能をレベルアップさせて国民体育大会やオリンピックなど大きな大会で活躍する姿は、市民に夢や感動を与えるだけでなく、青少年のスポーツに対する意識を高めるため、積極的に広報するなど、市民が競技スポーツに関心を持てるような取り組みを行う必要があります。

さらに、スポーツの競技力向上を図るためには、それぞれの選手の資質を最大限に引き出すことが大切です。優れた競技者のみならず、ジュニア選手など競技者の育成には、優秀な指導者が不可欠です。そのために、高度な専門的知識と高い指導力を持つ指導者の育成ができるよう研修を充実するなど積極的に推進する必要があります。

## 課題 スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実

---

市内のスポーツ施設については、小中学校や峰山途中ヶ丘公園・体育館がよく利用されているなか、不足している施設については、公園（ウォーキング、ジョギング、サイクリングなど）や体育館が多く挙げられています。今後、スポーツ・レクリエーション施設等の整備・充実に努めるなど、利用者ニーズに応じた整備を行う必要があります。

また、スポーツに関するボランティア活動に携わったことがない人の割合が7割以上となっており、携わったことがある人も友人・知人や所属する団体から頼まれてイベント等の運営・スタッフとしての関わり方が多くなっています。



今後、施設整備やボランティア活動への参加など、本市としてのスポーツ推進のビジョンを明確にするとともに、競技スポーツ、観光との連携、健康づくりなど暮らしの中のスポーツ等多面的なスポーツ施策の展開を図る必要があります。



ジオパーク(立岩ウォーク)



歴史街道丹後 100kmウルトラマラソン

## 第3章 基本的な考え方

### 1. 基本理念

#### 暮らしに息づく 「スポーツ文化の都 京丹後市」の創造に向けて

本市では、年齢や性別、障害の有無に関わらず、市民がいつでも、いつまでも、個々の状況に合わせて、運動やスポーツに親しむことができる「生涯スポーツの推進」「子どもスポーツの充実」「スポーツ競技力の向上」「スポーツ・レクリエーション施設等の整備充実」の実現を目指してきました。今後も子どもから高齢者まで、すべての市民が気軽にスポーツに関心を持ち、健康増進や生きがいにつなげ、スポーツを通じた市民の交流を促進することで活力あるまちを築いていきます。

国の「スポーツ基本計画」では、「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会の創出を目指していくことが必要である」としており、スポーツの果たす役割の重要性は高まっています。

本計画においては、それぞれの世代のニーズに対応し、子どもから高齢者までライフステージに応じたスポーツのあり方を考えるとともに、子どもの運動能力の底上げや高齢者の生きがいづくりを図ります。さらに、本市の豊かな自然環境を活かしたスポーツによるまちづくりを進める上では、暮らしの中に「スポーツ文化」という視点を取り込み、スポーツを通じて競技力の向上、観光との連携、健康づくりの推進など、多面的なスポーツ施策の展開を図る「スポーツ文化の都 京丹後市」を創造します。



歴史街道丹後 100km ウルトラマラソン

## 2 . 計画の目標

本計画では、「京丹後市スポーツ振興計画」の基本目標をふまえ、『暮らしに息づくスポーツ文化の都「京丹後市」の創造』を目指して、スポーツ施策を推進します。また、市民の誰もが、目的やライフステージに応じてスポーツに取り組むことができるスポーツのまちづくりを目指し、スポーツを通じて京丹後市のさらなる活性化を図ります。

### ( 1 ) ライフステージに応じたスポーツ施策の推進

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じてスポーツに取り組めるようスポーツ活動を推進していきます。また、高齢者や障害者の自主性や生きがいづくりを目的としたスポーツの推進など、ライフスタイルやライフステージに合わせ、誰もが気軽にスポーツ活動に取り組むことのできる生涯スポーツの推進を図ります。さらに、今後のスポーツ活動の推進にあたり、子どもたちに対する多様なスポーツの実施機会の提供のほか、子どもの中にスポーツや遊びに関わる時間を増やし、底辺の拡充を図るなど、スポーツに対する関心を高めるとともに、スポーツに取り組む環境を充実させるなど、子どもがスポーツを楽しむための基盤をつくります。

### ( 2 ) スポーツ競技力の向上

スポーツ活動の推進にあたり、各スポーツ団体や協会との連携強化に加え、行政としての様々な支援を行い、競技者の増加やジュニア選手の育成、活躍の場を確保します。また、スポーツを行う人のレベルや目的に合わせた適切な指導ができるよう、スポーツ指導者に対する研修会や講習会を開催し、スポーツ指導者の人材育成を図るなど、競技者と指導者の双方の育成を行い、スポーツ競技力の向上を図ります。

### ( 3 ) スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実

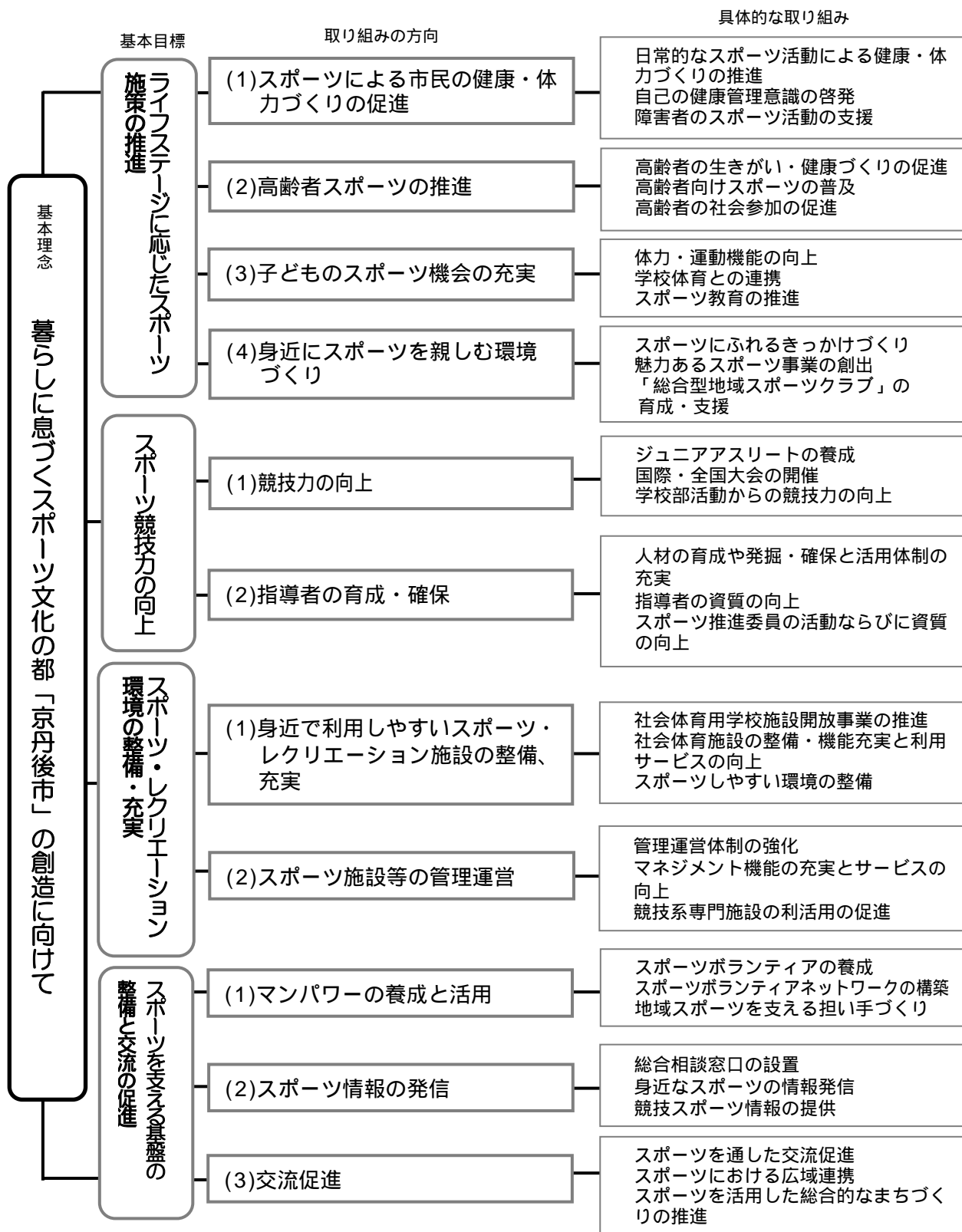
スポーツ活動を実践していくためには、安全で利用しやすいスポーツ施設が身近に充実していることが大切です。今後も市民のスポーツ・レクリエーション活動の場としてのスポーツ施設が果たすべき役割を再認識し、施設や設備の点検・整備を行うとともに、ニーズに応じた施設の新設・改修について検討を行うなど、市民がスポーツに親しみやすい環境を整備します。また、スポーツ施設の管理運営方法の改善を図っていきます。

### ( 4 ) スポーツを支える基盤の整備と交流の促進

スポーツは人と人、地域と地域の交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成し、健康で活力に満ちた長寿社会の実現には必要不可欠な要素です。今後、広範囲な行政分野が連携を図りながら、本市の地形、自然等を活かした各種スポーツイベントの実施や国際級・全国級の競技会、交流会、合宿の誘致を行い、地域や都市間とのネットワークの構築を図り、健康・観光などにも好影響が及ぶようスポーツを通じたまちづくりを進めます。

### 3. 施策体系

本計画では「京丹後市スポーツ振興計画」に掲げる目標達成のための4つの柱をふまえ、今回新たに「スポーツを支える基盤の整備と交流の促進」という基本目標を設け、『暮らしに息づくスポーツ文化の都「京丹後市」の創造』を目指します。



## 4 . 施策の展開

基本目標 1	ライフステージに応じたスポーツ施策の推進
--------	----------------------

### 数値目標

指標項目	単位	現状値(H24)	最終目標値(H29)
成人の週 1 回以上のスポーツ実施率	%	21.6	65.0
【指標内容】: 市民アンケート調査結果から設定。国の目標は 65%。			

### (1) スポーツによる市民の健康・体力づくりの促進

<b>施策名</b>	日常的なスポーツ活動による健康・体力づくりの推進
<p>市民が、心身ともに健康で豊かな日常生活を送るために、日頃からスポーツに親しむことは重要な要素であると考えられます。このため、市民が身近な地域でスポーツに親しむことができる機会の充実を図るとともに、アンケート結果に基づき、「今後行いたいスポーツ」として割合が高いウォーキングが実施できる環境づくりを進めます。</p> <p>効果的な地域スポーツ教室を実施するために、アンケート結果による市民のニーズを整理するとともに、ニュースポーツの普及等内容の充実を図ります。</p>	

<b>施策名</b>	自己の健康管理意識の啓発
<p>スポーツによる事故や怪我を未然に防止するために、まず自分の健康状態や運動能力を事前に把握することが重要であり、自己の健康管理意識の高揚を図ります。</p> <p>新体力テストは、自己の体力年齢を知る機会として有効な手段であることから、社会人の新体力テストの実施を全市的な取り組みとして進めます。</p> <p>関係機関と連携して、自己の健康管理の意識づけのための取り組みを展開するとともに、健康問題について相談できる窓口の開設や運動指導インストラクターの活用により、個人の身体能力に応じた運動指導や地区運動教室の充実を図ります。</p> <p>スポーツは誰もが取り組めるものというイメージを共有し、「今後、行いたいスポーツ」として割合が高いウォーキングの大会開催等、個人の身体能力に応じて、取り組めるスポーツの普及啓発を行います。</p>	

<b>施策名</b>	<b>障害者のスポーツ活動の支援</b>
<p>障害者のスポーツ活動への参加は、健康づくりとともに社会参加を促進するために有効な手段です。このため、イベントを通して各団体との連携をさらに深めるとともに、障害者がスポーツ活動に参加しやすいよう、健常者と障害者が一緒になって楽しめるようなニュースポーツなどの取り組みを行っていきます。</p> <p>障害者が、障害の種類や程度、さらにはライフステージに応じて、身近な地域で皆と一緒に日常的にスポーツを楽しめる「生涯スポーツ」の環境整備について検討していきます。</p> <p>障害者用トイレの設置など、誰もが使用しやすい施設整備を行います。</p>	

## (2) 高齢者スポーツの推進

<b>施策名</b>	<b>高齢者の生きがい・健康づくりの促進</b>
<p>高齢化が進む今日、高齢者のスポーツ活動は、健康の保持・増進だけでなく、孤立を防ぐとともに、生きがい対策としても重要な役割があります。このため、高齢者を対象とした事業実施機関等との連携を図り、高齢者の生きがいづくりとして、運動やスポーツの啓発活動を推進するとともに事業の充実に努めます。</p>	

<b>施策名</b>	<b>高齢者向けスポーツの普及</b>
<p>高齢者であっても65歳～100歳以上と年齢が幅広く、「高齢者」というよりも、個々人の身体状態に応じたスポーツ指導を行うことが必要なことから、指導者の育成及び確保に努めます。</p> <p>高齢者向けのスポーツを推進する上では、介護予防の視点もあわせもつ必要があることから、グラウンド・ゴルフやゲートボールに加え、個人の身体状態に応じたニュースポーツ等の取り組みの充実に努めます。</p>	

<b>施策名</b>	<b>高齢者の社会参加の促進</b>
<p>スポーツが高齢者の健康増進や生きがいづくりに大きな役割を果たすことから、高齢者向けのスポーツを普及させるとともに、ボランティアへの参加や大会の応援など、スポーツ活動を通じた社会参加の機会を提供します。</p> <p>体を動かすことだけでなく、大会の応援や趣味の一環で個人でも継続的に取り組める魅力あるスポーツの提案を行います。</p>	

### (3) 子どものスポーツ機会の充実

#### 施策名 体力・運動機能の向上

子どもの体力の低下は、全国的な課題であり、子どもの体力・運動能力向上、スポーツ機会の充実が必要となっています。このため、体力テスト等調査の実施により、児童生徒の体力の実態を客観的に把握し、継続的な体力向上の取り組みを進めるとともに、スポーツに苦手意識のある子どもでも気軽に参加できるイベント・大会等を開催します。

子どもがスポーツに取り組む環境を整備するために、すべてのスポーツ教室を自立したスポーツ団体として組織化し、スポーツ少年団への加入を促進するとともに、地域・家庭・学校及び各スポーツ競技団体等と連携し、子どもたちが身体を動かすことの楽しさを実感できる機会の充実を図ります。

#### 施策名 学校体育との連携

学校においてはそれぞれのスポーツが有する特性や魅力に応じて、基礎的な身体能力や知識を身に付け、生涯にわたってスポーツに親しむことができる取り組みを進めます。

運動の日常化を図る取り組みを推進するとともに、体育授業はもとより学校行事等においても、子どもたちの体力、運動能力の向上につながる取り組みを推進し、学校・地域・児童生徒・保護者等が協力して実施できるよう支援を図ります。

#### 施策名 スポーツ教育の推進

スポーツ活動を通じた挑戦意欲や達成感及び集団のなかでのルールなどの経験や学び等は子どもの健全な成長にとって効果的な要素です。このため、子どもの体力や運動能力の現状を把握するとともに、スポーツ団体等が行っている未就学児から低学年向けの事業などを積極的に展開し、運動に親しむ機会の拡充に取り組めます。

医療機関等と連携し、過重な運動による事故や障害を防止するための検診や学習機会の提供に努めます。



少年サッカー(網野北小学校)



世界大会・全国大会出場激励会

#### (4)身近にスポーツを親しむ環境づくり

<b>施策名</b>	スポーツにふれるきっかけづくり
<p>乳幼児期から運動に親しむことは、心身の成長及び人間関係や社会性を身につける機会であり子どもの健全な成長にとって大切な要素です。このため、幼児期からの全身と五感を使った自然な遊びの実現に積極的に取り組むとともに、保護者への周知・実践例の紹介等を行います。</p> <p>幼児期からスポーツにふれあうことは、次の世代の競技者へとつなげるきっかけとなることから、親子と一緒に参加できるスポーツの機会を提供するとともに、世代を超えた交流やコミュニティづくりにつなげていく取り組みを推進します。</p> <p>市民が様々なスポーツを楽しむことができる場を提供するために、公民館及び小中学校PTAなどと連携しスポーツ教室等の開催を進めます。</p>	
<b>施策名</b>	魅力あるスポーツ事業の創出
<p>市民のスポーツへの関心を高めるために、スポーツの楽しさを実感できる事業の創出が必要です。このため、市民のニーズに応じた魅力あるスポーツを実施するなど、誰もが気軽に参加しやすい事業となるような工夫をするなど魅力ある事業内容を展開し、生涯にわたって継続したスポーツ活動を促進します。</p> <p>市民のニーズが高いスポーツイベント等の開催により「見るスポーツ」を充実することによりスポーツへの関心を高める活動を進めます。</p>	
<b>施策名</b>	「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援
<p>「総合型地域スポーツクラブ」は、地域の住民が主役のスポーツクラブであり、市民が身近な地域で主体的かつ継続的にスポーツに取り組む環境づくりのために重要な組織です。このため、身近な生活圏である各町域に総合型地域スポーツクラブの育成を促進するとともに、スポーツクラブが活動する拠点づくりとクラブ運営のためのスタッフの育成・確保に努めます。</p> <p>「総合型地域スポーツクラブ」の広報・啓発に努め、スポーツを通じたまちづくりが展開されるよう地域コミュニティの醸成や活力あるクラブの育成・支援を行います。</p>	



基本目標 2	スポーツ競技力の向上
--------	------------

### 数値目標

指標項目	単位	現状値(H24)	最終目標値(H29)
京都府民総合体育大会入賞競技数	競技	6	10
【指標内容】： 京都府民総合体育大会結果から設定。			

### (1) 競技力の向上

<b>施策名</b>	ジュニアアスリートの養成
<p>子どもが好きなスポーツで将来の夢や希望を持ち、それを達成できるようスポーツに取り組んでいける環境整備が求められています。このため、トップアスリートによる直接指導や競技が観戦できる機会を設け、高いレベルの競技者や指導者と身近にふれあう機会を創出することにより、子どもがアスリートを志す意欲の向上に取り組めます。</p> <p>ジュニアスポーツ教室等により競技人口の拡大を図るとともに、将来性を有するジュニアアスリートを発掘し育成する支援体制について検討を進めます。</p>	

<b>施策名</b>	国際・全国大会の開催
<p>国際大会や全国大会を誘致し、レベルの高い競技を間近に「みる」とともに、多くのボランティアが大会運営を「ささえる」ことで、市民のスポーツに対する関心を高めることに取り組みます。</p> <p>市民のスポーツに対する関心を高め、競技レベルの高い国内の選手と競い合うことにより、競技者や指導者の技術向上を図る取り組みを推進します。</p> <p>アマチュアスポーツにおいて優秀な成績をおさめたアスリートや永年にわたりスポーツ活動をささえていただいた方々を顕彰し、その栄誉を称え、広く市民に周知します。</p>	

<b>施策名</b>	学校部活動からの競技力の向上
<p>運動部活動において、地域スポーツ指導者が子どもたちに実技指導等を行うことは、運動部活動の充実のみならず学校の活性化につながるため、地域スポーツ指導者と学校のさらなる連携を図り、競技力の向上を目指します。</p>	

## (2)指導者の育成・確保

### 施策名 人材の育成や発掘・確保と活用体制の充実

スポーツ人口の拡大及び競技力の向上を図るためには指導者の確保と指導体制の確立が不可欠です。このため、指導者に求められる知識や指導力の範囲の拡大に対応して、栄養指導やスポーツ障害の予防、メンタルトレーニング等の専門家に関する人材データを収集し、スポーツ団体のニーズに応じて強化練習会などに派遣します。

市民ニーズに応じた指導者の養成やスポーツ活動実施率向上を図るため、体育協会等と連携して各種研修会や講演会を開催します。あわせて、健康づくり推進員の活動の充実を図るとともに、スポーツボランティアの育成を行い、ボランティア登録制度を推進します。

### 施策名 指導者の資質の向上

指導者の資質向上と新たな指導者の育成は重要な課題です。このため、指導者の研修機会として指導者の資質を向上させるために、最新のスポーツ医・科学情報や客観的なデータの活用方法、そして、コーチングスキルの習得を目的とした指導者講習会や指導者交流シンポジウムを実施するとともに、暴力行為によらないスポーツ指導を徹底します。

競技力の向上の視点に立った基礎体力の向上等、共通の課題や効果的な指導方法について、具体的な実践から学び、必要な情報を共有できるよう指導者の指導力向上及び育成を目的とした研修会や講習会等を開催します。

### 施策名 スポーツ推進委員の活動ならびに資質の向上

スポーツニーズを把握し、スポーツ人口の底辺を拡大していくためには、身近な地域のスポーツ指導者として活動するスポーツ推進委員の役割は重要です。このため、市民の多様なスポーツニーズに対応していくために、スポーツ推進委員の体制や活動内容の見直しも視野に入れつつさらなる活動の充実を図っていくとともに、各種研修会等への参加による委員の資質向上に努めます。

ニュースポーツ教室等市民のニーズに合った定期的なスポーツ活動の場を提供するとともに、公民館及び小中学校PTAなどと連携し、身近な場でのスポーツ活動の普及・定着を図ります。



ニュースポーツ(きばれえ)



学童野球

基本目標 3	スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実
--------	-----------------------

数値目標

指標項目	単位	現状値(H24)	最終目標値(H29)
公共スポーツ施設の利用回数	回	11,253	13,000
【指標内容】： 公共施設利用状況調査結果より設定。			

(1) 身近で利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設の整備、充実

<b>施策名</b>	社会体育用学校開放施設事業の推進
<p>学校体育施設は、市民にとって身近なスポーツ活動の場です。このため、利便性の向上を図りつつ引き続き施設の開放を進めます。あわせて、学校体育施設の老朽化が進む中で、今後も継続して市民が安全・快適に利用できるよう計画的な施設・設備の整備に努めます。</p>	

<b>施策名</b>	社会体育施設の整備・機能充実と利用サービスの向上
<p>社会体育施設は、市民のスポーツ活動を進める拠点です。このため、体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設については、見直しや代替利用のあり方も含めて検討を進めます。</p> <p>施設の付帯設備及び利用手続き等について利用者の意見を聞きながら、利用者の利便性の向上を図るための検討を進めます。</p>	

<b>施策名</b>	スポーツしやすい環境の整備
<p>八丁浜シーサイドパークをはじめとした都市公園、競技系専門施設に付随した公園施設やウォーキング・ジョギングコースなど、誰もがその目的に応じてスポーツやレクリエーション・遊びなどを気軽に楽しむことのできる施設の整備充実を努め、より身近で気軽にスポーツや余暇活動のできる機会創出と気運高揚を図ります。</p>	



サッカー大会(八丁浜シーサイドパーク)



大宮社会体育館

## (2) スポーツ施設等の管理運営

### 施策名 管理運営体制の強化

市民が気軽にスポーツ活動ができる環境をつくるためには、利用しやすい施設の運営体制を整備することが必要です。このため、多様化する市民ニーズに対応した効果的な管理運営が行えるよう、相談体制の充実や利用申込み方法等の検討を行い、施設利用サービスの向上に努めます。

社会体育施設の効果的な利用を促進するため、現在直営で行っている管理運営について、スポーツ関係団体等への指定管理や委託等について検討を行います。

### 施策名 マネジメント機能の充実とサービスの向上

市民が気軽に利用できるよう、使用料体系や減免制度、利用の申し込み方法等の検討を行い、その改善を随時図っていくことで施設利用サービスの向上に努めます。

観光産業とも連携した合宿利用の促進による施設の有効利活用などマネジメント機能を備えた施設の管理運営に努めます。

### 施策名 競技系専門施設の利活用の促進

地域の特色に配慮しつつ、峰山総合公園(野球場、テニスコート)や峰山途中ヶ丘公園(400m公認トラック陸上競技場、グラウンド・ゴルフ公認コース)といった専門競技場を備えたスポーツ施設については、ランクアップの必要性や機能アップの充実等について、今後も関係機関と協議を行うとともに、調査・研究・施設整備・改修に取り組みます。

スポーツによるまちづくりを進めるため、国際級・全国級の大会を積極的に誘致できる専門競技場を備えたスポーツ施設の整備を検討します。



峰山球場



網野体育センター

基本目標 4	スポーツを支える基盤の整備と交流の促進
--------	---------------------

#### 数値目標

指標項目	単位	現状値(H24)	最終目標値(H29)
スポーツに関するボランティア登録者数	人	0	1,000
【指標内容】： スポーツボランティアの登録者から設定。			

### (1)マンパワーの養成と活用

<b>施策名</b>	スポーツボランティアの養成
<p>スポーツボランティア登録制度を創設し、スポーツを支える担い手づくりを進めます。</p> <p>地域におけるスポーツ指導者やスポーツボランティア登録者などスポーツボランティア活動者を対象とした研修を行い、質の高い指導や適切な対応が行えるようスキルアップを図るとともに、新たな人材の発掘に取り組みます。</p> <p>スポーツ事故・外傷・障害等の予防に関する研修を行うことによりスポーツにおける安全の確保に取り組みます。</p>	

<b>施策名</b>	スポーツボランティアネットワークの構築
<p>スポーツを「ささえる」ボランティアのネットワークを構築するための基盤整備を目的として、ボランティア団体との意見交換の場を設けるとともに、ボランティア活動に必要な情報を提供する取り組みを推進します。</p>	

<b>施策名</b>	地域スポーツを支える担い手づくり
<p>ボランティア活動へのきっかけづくりとして、気軽に、時間などにあまりとらわれずにできるボランティア情報などの発信を行いボランティア活動の推進に取り組みます。</p>	

### (2)スポーツ情報の発信

<b>施策名</b>	総合相談窓口の設置
<p>スポーツを始めたい人、スポーツ団体を立ち上げたい人、スポーツで健康づくりをしたい人などの中には、どうしていいのかわからない人が多いことから、それぞれのライフスタイルにあったスポーツへの関わり方の相談窓口を教育委員会社会教育課に設置します。</p>	

<b>施策名</b>	<b>身近なスポーツの情報発信</b>
<p>広報紙「京たんごスポーツ」の発行によりスポーツ大会の結果や、国際大会や全国大会出場者の紹介等による情報を提供し、スポーツへの市民の理解と関心を喚起し、スポーツを親しむ気運の醸成をはじめ、子どもスポーツや生涯スポーツの推進・充実、指導者やジュニア選手の育成等につなげるとともに、スポーツ分野における新たな観光・交流人口の拡大によるまちづくりを推進します。</p> <p>ホームページを活用し、市が主催・後援するスポーツ大会などのイベントや各地域で開催されるスポーツ教室等の紹介、市内全域の公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を積極的に発信します。</p> <p>スポーツを身近なものにしていくためには、スポーツイベント等のスポーツに親しむきっかけづくりに加え、それらの情報を効果的に発信し、「いつ、どこで、どのような」スポーツを楽しむかを情報伝達することが必要なため、ホームページによる情報発信に加え、スポーツイベントのインターネット動画中継やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用など即時性、拡張性のある情報発信を充実していきます。</p>	

<b>施策名</b>	<b>競技スポーツ情報の提供</b>
<p>広報紙やホームページ等により国際大会や全国大会等に出場する選手・チームなどを積極的に発信することにより、市民の競技スポーツへの関心を図ります。</p> <p>国際大会や全国大会などを誘致することにより、市民に競技スポーツについて関心を持ってもらうとともに、「みる」スポーツ、「ささえる」スポーツを積極的に推進します。</p>	

(3) 交流促進

<b>施策名</b>	<b>スポーツを通じた交流促進</b>
<p>各種スポーツイベントの積極的な実施及び国際級・全国級の競技会の開催・誘致によるスポーツ交流機会の拡充は、スポーツを通じた幅広い地域間交流と市民参加を促進する重要な役割があります。このため、「する」「みる」「ささえる」などさまざまな立場や役割で市民が関わるスポーツイベントを開催・誘致し、地域コミュニティの形成・活性化を図ります。</p> <p>小中学校及び高等学校の世代を超えたスポーツ交流大会などの開催を通じて、競技力の向上を図ります。</p> <p>スポーツ合宿誘致を促進するため、閉校施設等にスポーツ施設と宿泊機能を持たせた整備を検討します。</p> <p>大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等を誘致することにより、交流人口の拡大、地域経済効果の向上を図るとともに、観光振興を通じた地域スポーツ・競技スポーツの充実を図るなど、スポーツによるまちづくりを推進します。</p>	

<b>施策名</b>	<b>スポーツにおける広域連携</b>
<p>国際級・全国級のスポーツ大会の開催を誘致するための各種支援を行い、大会の継続開催を促すとともに、府外からの来訪者を増やし地域の活性化に取り組みます。</p> <p>市内で開催される一定規模以上のスポーツイベントの誘致や支援に向けた組織の設立を目指します。また、イベントの開催やスポーツ情報の国内外へ向けた発信、スポーツと観光を組み合わせた「スポーツツーリズム」による交流人口の拡大に取り組みます。</p>	

<b>施策名</b>	<b>スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進</b>
<p>スポーツは、市民が心身ともに健康で文化的な生活を営むために必要なものであるばかりではなく、地域振興や経済効果そして長寿社会を築くなどまちづくりを進めるための様々な効果に対する期待があります。このため、市民の誰もがそれぞれの年齢や体力、目的に応じて、「いつでも」「どこでも」「誰でも」「いつまでも」スポーツに関わることができる機会を効果的に提供します。</p> <p>地域資源や特徴を活かしたスポーツ活動を推進するとともに、関係機関と連携を図りながら、新たに「スポーツ観光等」の視点による取り組みを展開します。</p> <p>スポーツの推進は世界共通の文化として、本市はもとより国・府のスポーツの発展にもつながります。今後、さらにスポーツを活用した総合的なまちづくりを推進することにより、健康の保持増進や体力の向上だけでなく、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成につながるよう、創造的な文化活動の1つとして各事業と連携を図ります。</p>	



近畿高等学校駅伝競走大会



ドラゴンカヌー選手権大会

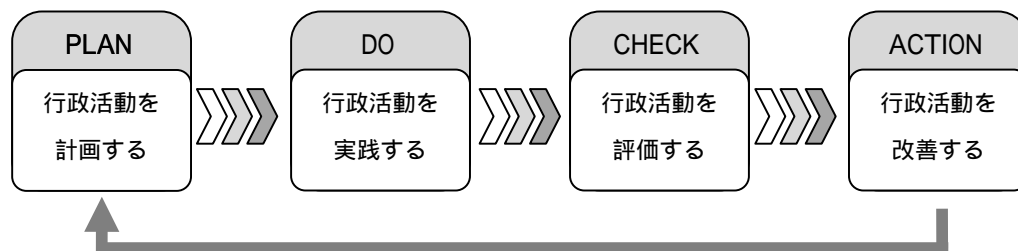
## 第4章 計画の推進に向けて

### 計画の進捗管理

#### (1) 市役所庁内における推進体制の整備

計画は社会教育課を事務局とし、スポーツを通して京丹後市の活性化を市役所全庁的に推進していくため「京丹後市スポーツのまちづくり推進本部」を中心に関係各課と情報共有等、連携を図りながら取り組みを推進します。本計画で掲げた市民のスポーツ推進に関する各施策については、PDCAサイクル（計画管理のためのサイクル）を実行し、毎年、担当課において点検や評価を行うことで計画の進捗状況を把握し、実効性を確保します。

#### PDCAサイクル



#### (2) 市民視点からの推進体制の整備

計画の進捗状況や数値目標の達成状況を、広報紙やホームページ、スポーツ広報紙「京たんごスポーツ」等を活用して随時公表することで、市民や関係団体などの意見の施策への反映に努めます。また、京丹後市スポーツ推進審議会において、計画の進捗状況を管理します。その際、本市のスポーツ推進に重要な役割を担う各種団体と定期的に意見交換を行い、施策や事業の推進に活かします。

#### (3) 市民、団体等との連携・協働

市民が日常的にスポーツに取り組めるよう、意識啓発活動を推進するとともに誰もが参加しやすい環境づくりを進めます。また、統計データの収集や、定期的な市民アンケートの実施などにより、市民ニーズを把握した上で計画の改善などに活かします。

また、より一層のスポーツ活動の振興を図るため、スポーツに取り組む各種団体の自主的な活動を支援するとともに、各種団体と連携・協働した取り組みを積極的に実施します。